

一般国道20号 長野県諏訪市～下諏訪町間

計画段階評価

第2回 説明資料の修正

- | | |
|------------------------------|----|
| 1. 地域の意見聴取(第1回)の内容について . . . | 1 |
| 2. 地域の意見聴取(第1回)の結果について . . . | 6 |
| 3. 対応方針(ルート帯案)について . . . | 34 |
| 4. 地域の意見聴取(第2回)の方法について . . . | 40 |

平成28年4月12日 関東地方整備局

1. 地域の意見聴取(第1回)の内容について

1-1. 意見聴取の実施内容

2

■意見聴取期間

平成26年2月6日(木)～3月7日(金)

■意見聴取の対象

調査票形式				
住民等	郵送 全戸配布	すわし 諏訪市	24,174部 (20,519世帯)	合計 33,713部 (28,838世帯)
		しもすわまち 下諏訪町	9,539部 (8,319世帯)	
	留置き	周辺市町村の市役所・町役場・村役場 (岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、 富士見町、原村の6箇所)		合計 400部
	Web	一般の意見を聴取		
事業者	郵送	諏訪市、下諏訪町の商工会 会員企業	449社	合計 599社
		諏訪市、下諏訪町の観光協会 会員企業	135社	
		諏訪トラック協同組合 組合企業	15社	

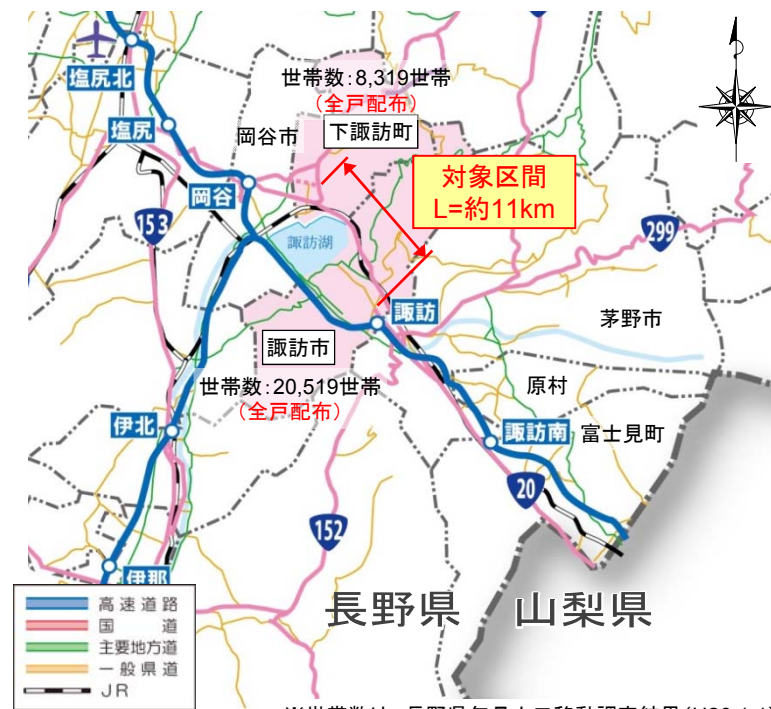
※世帯数は、長野県毎月人口移動調査結果(H26.1.1)

※対象地域内に存在する全ポストへ投函したため部数とは異なる

ヒアリング調査

事業者	製造業・物流業	(諏訪市・下諏訪町の商工会議所、長野県トラック協会など)
	観光業	(諏訪市・下諏訪町の観光協会、首都圏、中京圏の旅行代理店など)
	消防・医療機関	(消防、病院)
	公共交通機関	(バス会社、タクシー会社など)
観光客	諏訪地域の観光施設(諏訪大社、片倉館、上諏訪駅、諏訪湖SA(上り・下り)、 おぎのやの6箇所)	

■調査票(住民等)の配布範囲



オープンハウス

住民等	スワプラザ(諏訪市)
	イオン諏訪店(下諏訪町)
	イオン諏訪店(下諏訪町)
	スワプラザ(諏訪市)

1-2. 地域への情報提供(内容)

3

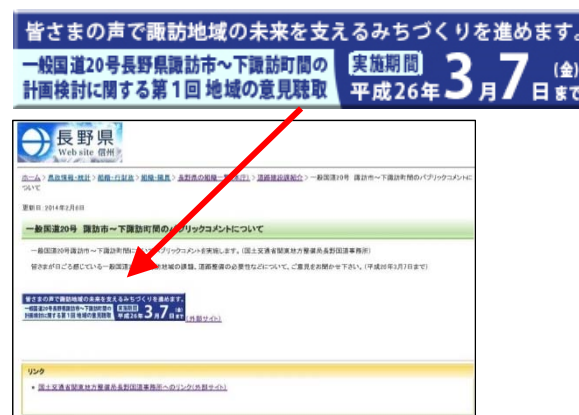
- ①ホームページ : 国土交通省長野国道事務所のホームページに意見聴取のページを開設。
長野県及び周辺6市町村(岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村)のホームページで意見聴取を案内。
- ②新聞広告 : 長野県内2紙に意見聴取への協力を呼びかける広告を掲載。
- ③広報チラシ : 諏訪市(広報誌折込み)、下諏訪町(戸別配布)にチラシを配布。
- ④ポスター : 諏訪市、下諏訪町の公民館に、広報チラシと同じ内容のポスターを掲示。
- ⑤市役所、町村役場 : 周辺6市町村(岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村)の市役所、町村役場に留置きを設置。

①ホームページ

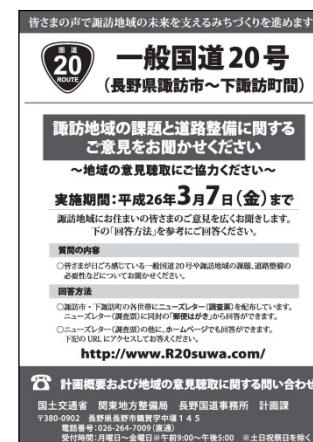
■国土交通省長野国道事務所



■長野県・周辺6市町村(バナー設置)



③広報チラシ(A4判)／④ポスター(A2判)



②新聞広告(H26.2.8 朝刊)

教えてください！ 諏訪市・下諏訪町の各世帯にニュースレター(調査票)を配布しています。

諏訪地域の課題と道路整備について

一般国道20号の長野県諏訪市西側から諏訪郡下諏訪町東町までの、対象区間(約11km)の計画の検討を進めています。
前後の区間では、茅野市側に「諏訪IC関連」や「坂室バイパス」、岡谷市側に「下諏訪岡谷バイパス」の整備が進められています。

ホームページを開設しました
諏訪市や下諏訪町、関東地方小委員会の取り組みへのリンク、皆さまからいただいた意見など、最新の情報を更新していく予定です。
<http://www.ktr.mlit.go.jp/nagano/R20suwa/>

オープンハウスを開催します
■スワプラザ1F 2/9(日)、3/2(日) 10:00～17:00
■イオン諏訪店1F 2/22(土)、23(日) 10:00～17:00

Web回答ページURL
<http://www.R20suwa.com/>

諏訪地域の課題と道路整備に関する ご意見をお聞かせください ～地域の意見聴取にご協力ください～

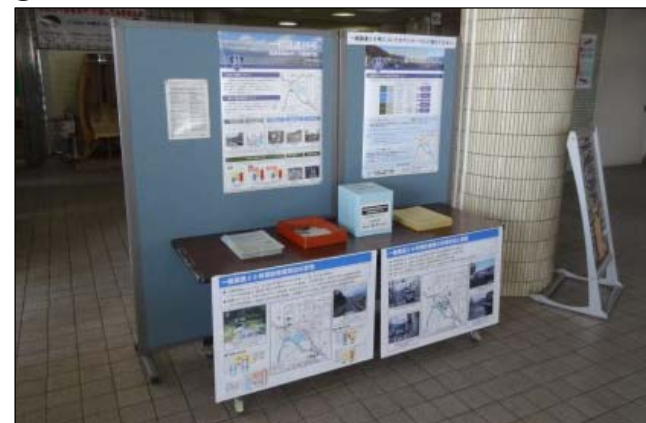
実施期間：平成26年3月7日(金)まで
諏訪地域にお住まいの皆さまのご意見を広くお聞きします。
下の「回答方法」を参考にしてください。

質問の内容
○皆さまが日々感じている一般国道20号や諏訪地域の課題、道路整備の必要性などについてお聞かせください。

回答方法
回答方法は、以下の3種類あります。
① 諏訪市・下諏訪町にお住まいの方は、ニュースレター(調査票)と同封の「郵便はがき」にて回答を記入し、投函してください。
② 諏訪地域の方は最寄りの市役所、町村役場に「諏訪地域の課題と道路整備について」のコーナーを設けていますので、こちらでも回答できます。
また、ニュースレター(調査票)も入手できます。
③ Webでも回答できますので、左下URLにアクセスしてお答えください。

お問い合わせ
国土交通省 関東地方整備局 長野国道事務所 計画課
〒380-0902 長野県長野市鶴見字中環145
電話(長野) 026-264-7009(直通)
受付時間：月曜日～金曜日 午前9:00～午後5:00 ※土日祝祭日を除く

⑤市役所・町村役場(留置き)



(下諏訪町役場)

1-2. 地域への情報提供(オープンハウス)

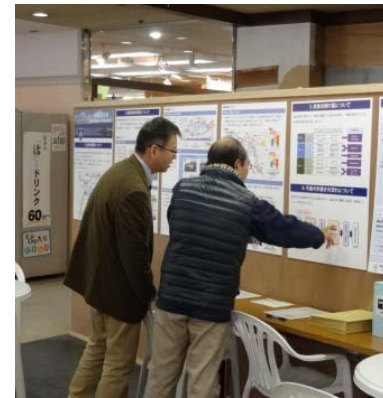
4

- ◆ 一般国道20号(長野県諏訪市～下諏訪町間)のオープンハウスは計4回開催し、地域住民と直接的な対話をするこ
とにより、情報発信と地域住民の意見把握をすることを目的に実施。
- ◆ 諏訪市、下諏訪町の商業施設で実施し、合計104人の来訪。

■オープンハウスの実施概要

実施日時		場所	来訪者
平成26年 2月 9日（日）	10:00 ↓ 17:00	スワプラザ(諏訪市)	19 人
平成26年 2月 22日（土）		イオン諏訪店(下諏訪町)	53 人
平成26年 2月 23日（日）		イオン諏訪店(下諏訪町)	19 人
平成26年 3月 2日（日）		スワプラザ(諏訪市)	13 人
		合計	104 人

■オープンハウスの実施状況



スワプラザ(諏訪市)でのオープンハウス実施状況

■オープンハウスの説明用パネル

■地域について
観光業・製造業への影響
高瀬道路1区までのアクセスが悪いため、高瀬道路1区から諏訪市や諏訪大社など、観光地までの移動に時間がかかり、観光客への影響が考えられます。また、工業団地への移動においても、大渋滞に陥る可能性があるため、製造業への影響が考えられます。

一般国道20号
(長野県諏訪市～下諏訪町間)
持主の力で、諏訪地域の未来を支える
まちづくりを進めます。

1. 計画の概要について
一般国道20号の長野県諏訪市内区間から諏訪市下諏訪町間までの、対象区間(約11km)の計画の概要を進めています。
前後の区間は、茅野市間に「諏訪IC計画」や「坂井バイパス」、岡谷市間に「下諏訪岡谷バイパス」の整備が進められています。※
※現在、予定の車線で計画しています。

3. 政策目標の案について
諏訪地域の現状より、地域の課題とその原因を整理し、課題を解決するための政策目標の案を設定しました。

2. 諏訪地域の現状について
諏訪地域の国道20号には、自然災害やリダンダンシー(代官路)などの「防災」、交通の集中や渋滞、事故などの「道路」、観光業や製造業、医療、沿道施設などの「地域」について、課題の整理を行いました。

■防災について
最悪災害による被害
平成18年7月の豪雨では、高瀬道路により、国道20号の区間で約37時間渋滞し、全通したものの発生しました。

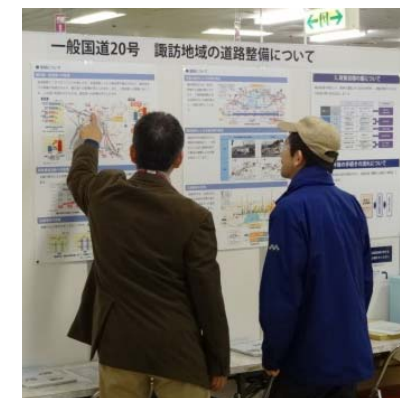
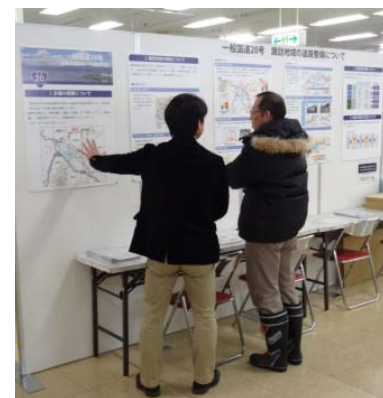
リダンダンシーの確保(代官路の確保)
高瀬道路と中山道を結ぶ唯一の交通ルートである国道20号の中核自動車道が断絶した場合、大規模な渋滞の発生が予想されます。

5. 地域の意見聴取について
皆さまのご意見をお聞かせください
一般国道20号や諏訪地域の課題、道路整備の必要性などについて、諏訪地域にお住まいの皆さまのご意見を広くお聞きします。

■道路について
交通の集中による渋滞の発生
諏訪市域では、南に移動する道路が限られており、主要幹線道路である国道20号に交通が集中し、渋滞が発生しています。

沿道施設による交通渋滞の発生
諏訪市域の国道20号には、沿道の施設あり、一歩移動による交通の集中がやむを得ず、沿道の施設による交通渋滞が発生しています。

交通事故の多発
国道20号は、沿道に出入りする車両や歩道で走行している車両などへの衝突事故が多発しています。



イオン諏訪店(下諏訪町)でのオープンハウス実施状況

1-3. 意見聴取の実施状況

5

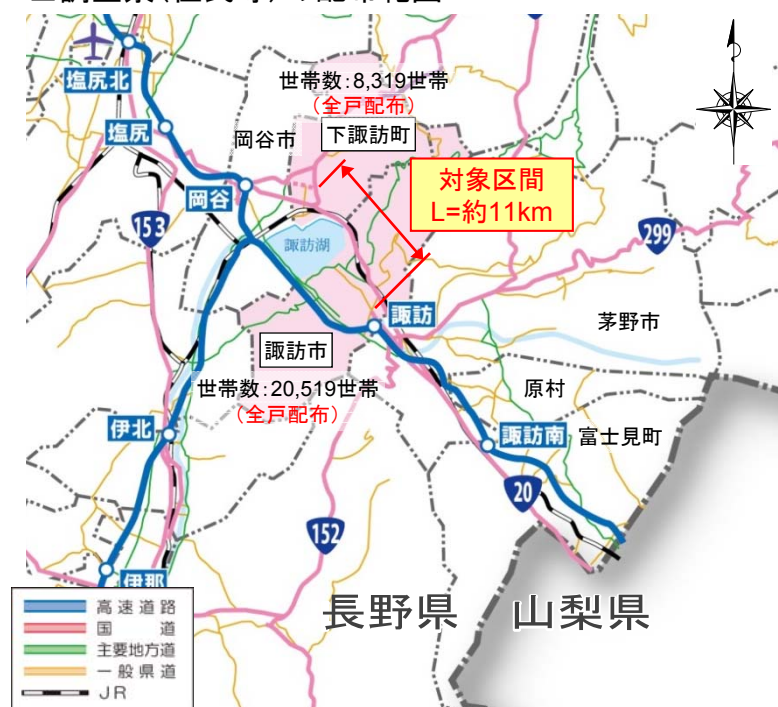
■調査票形式、ヒアリング調査の実施状況

調査票形式		配布回収数 (カッコ内)は回収率	
住民等	郵送配布	配布数	33,713部
	郵送回収	回収数	8,142部 (24%)
	留置き(郵送回収)	回収数	188部
	Web	回収数	296部
		回収数計 8,626部	
事業者(郵送配布、郵送回収)		配布数	599社
		回収数	214社 (36%)

ヒアリング調査		実施状況
事業者	製造業・物流業	8社
	観光業	9社
	消防・医療機関	2社
	公共交通機関	3社
	計	23社
観光客		315人

※世帯数は、長野県毎月人口移動調査結果(H26.1.1)
※対象地域内に存在する全ポストへ投函したため部数とは異なる

■調査票(住民等)の配布範囲



■ヒアリング調査箇所(拡大図)



※世帯数は、長野県毎月人口移動調査結果(H26.1.1)

2. 地域の意見聴取(第1回)の結果について

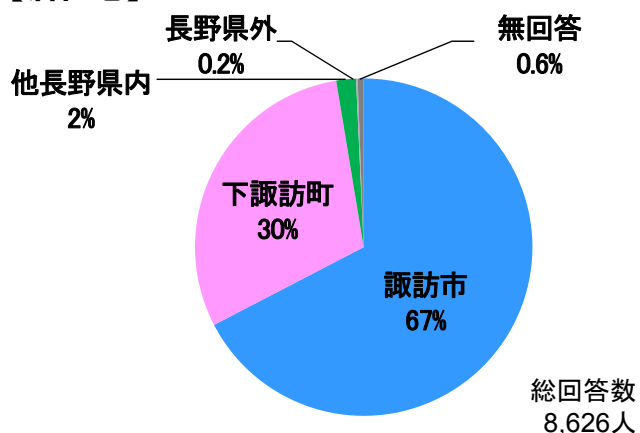
2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票（地域区分・属性）

7

- ◆「地域の意見聴取」の全回収数は8,626人で、郵便はがき8,142人、留置き188人、Web調査296人が回答。
- ◆回答者の地域区分は、諏訪市が約7割、下諏訪町が約3割と配布部数に概ね比例。
- ◆郵便はがきの回収率をみると、諏訪市が23%で、下諏訪町が26%で、回収率は概ね同数。

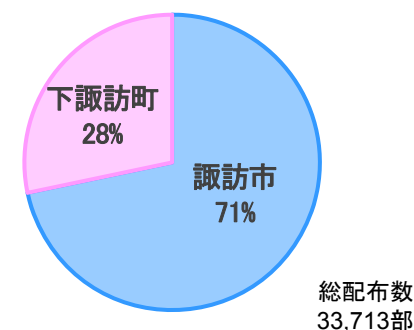
回答者の地域区分

【居住地】



【参考】郵便による調査票の配布状況

郵送配布数の地域区分

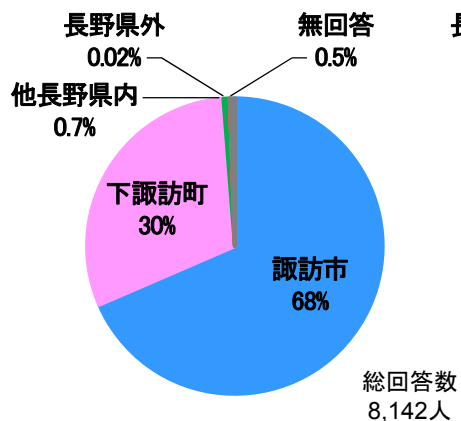


【居住地（郵便はがき）】

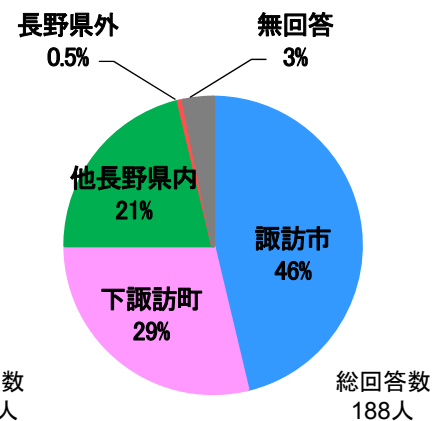
回収数と回収率

市町名	配布数	回収数	回収率
諏訪市	24,174部	5,577部	23%
下諏訪町	9,539部	2,464部	26%
合計	33,713部	8,041部	24%

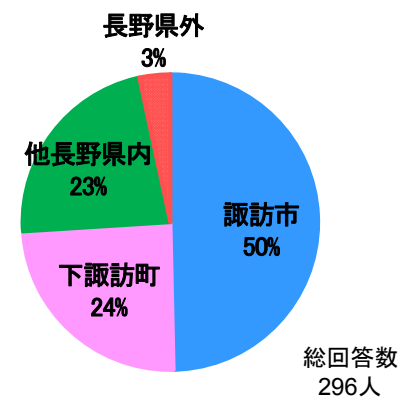
【居住地（郵便はがき）】



【居住地（留置き）】



【居住地（Web）】



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

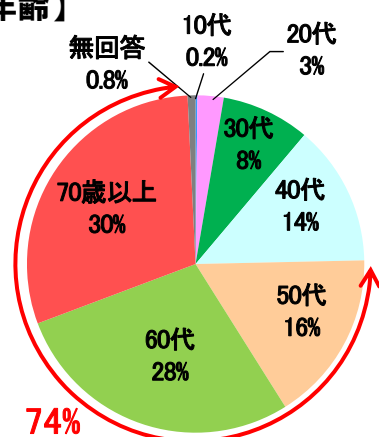
2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票（地域区分・属性）

8

- ◆ 意見聴取は、諏訪市及び下諏訪町の全世帯を対象としたところ、男性の回答率が7割以上と高く、女性の割合が低い傾向。
- ◆ 回答者の属性として、地域の実態と比べ、50代以上の回答者が7割以上と高く、9割の回答者が運転免許を保有。

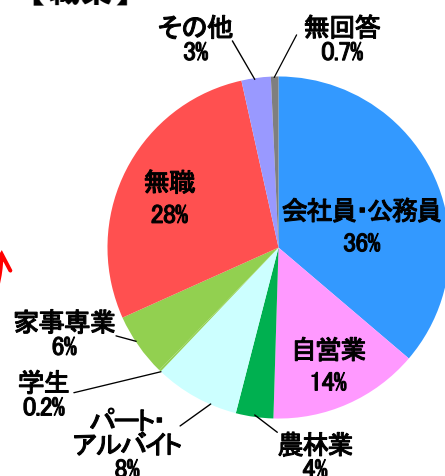
回答者属性

【年齢】

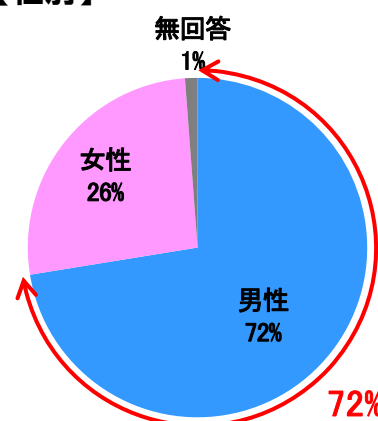


【職業】

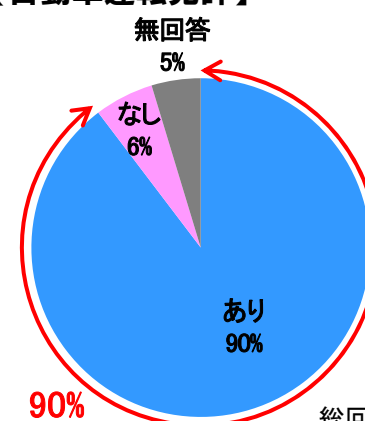
（その他内容：シルバー人材、団体職員 等）



【性別】



【自動車運転免許】

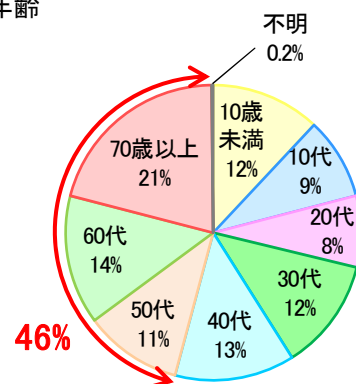


総回答数
8,626人

【参考】諏訪市・下諏訪町の人口データ

夜間人口：諏訪市50,308人、下諏訪町21,197人（※H25.10.1）

年齢

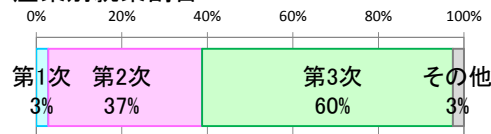


資料）長野県毎日人口移動調査（H25.10.1）

就業率

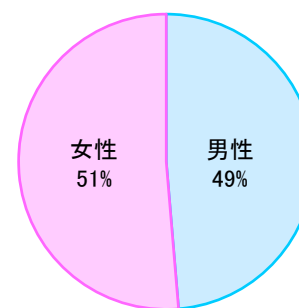
	就業者数	就業率
諏訪市	25,954人	59.1%
下諏訪町	10,333人	54.7%

産業別就業割合



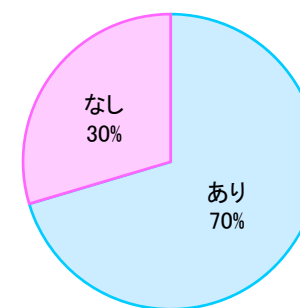
資料）就業率：就業者総数／国勢調査15歳以上人口（H22.10.1）
産業別就業者割合：「H22国勢調査」

性別



資料）長野県毎日人口移動調査（H25.10.1）

運転免許保有（※長野県全域）



資料）長野県警察本部HP（H25.12.1）

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

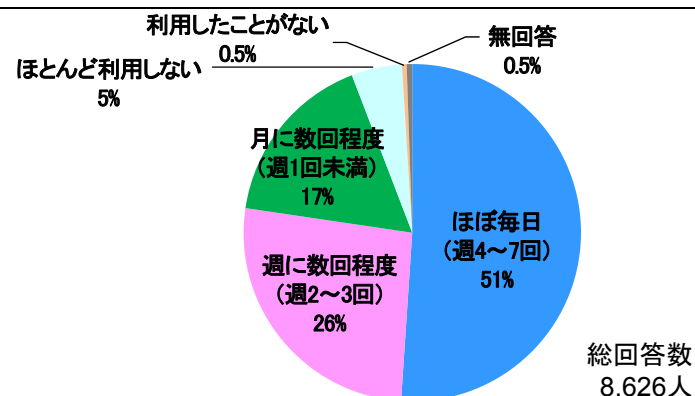
2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票（利用頻度・目的・手段）

9

- ◆利用頻度では、回答者の約5割が国道20号を「ほぼ毎日」利用と回答。
- ◆利用目的では、「通勤・通学」が約3割、「仕事」が約2割で合わせて約5割、「日常的な買い物・食事など」が約5割。
- ◆利用手段では、回答者の約9割が「自動車利用」と回答。

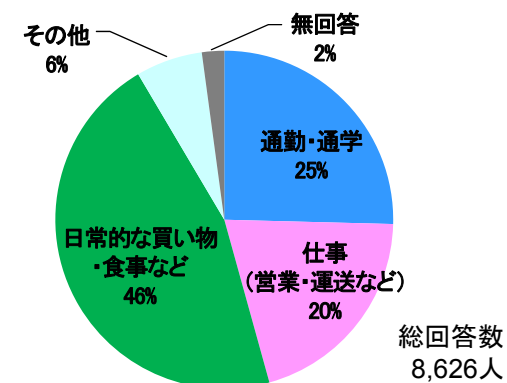
国道20号の利用頻度

【質問①】 ふだん、諏訪地域内の国道20号をどの程度利用していますか？ 【単一回答】



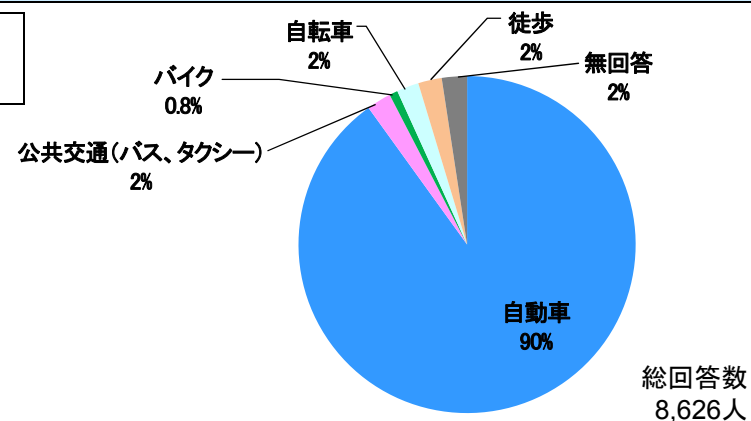
国道20号の利用目的

【質問③】 諏訪地域内の国道20号を通行する際に、最も多い目的は何ですか？ 【単一回答】



国道20号の利用手段

【質問②】 諏訪地域内の国道20号を通行する際に、主な移動手段は何ですか？ 【単一回答】



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

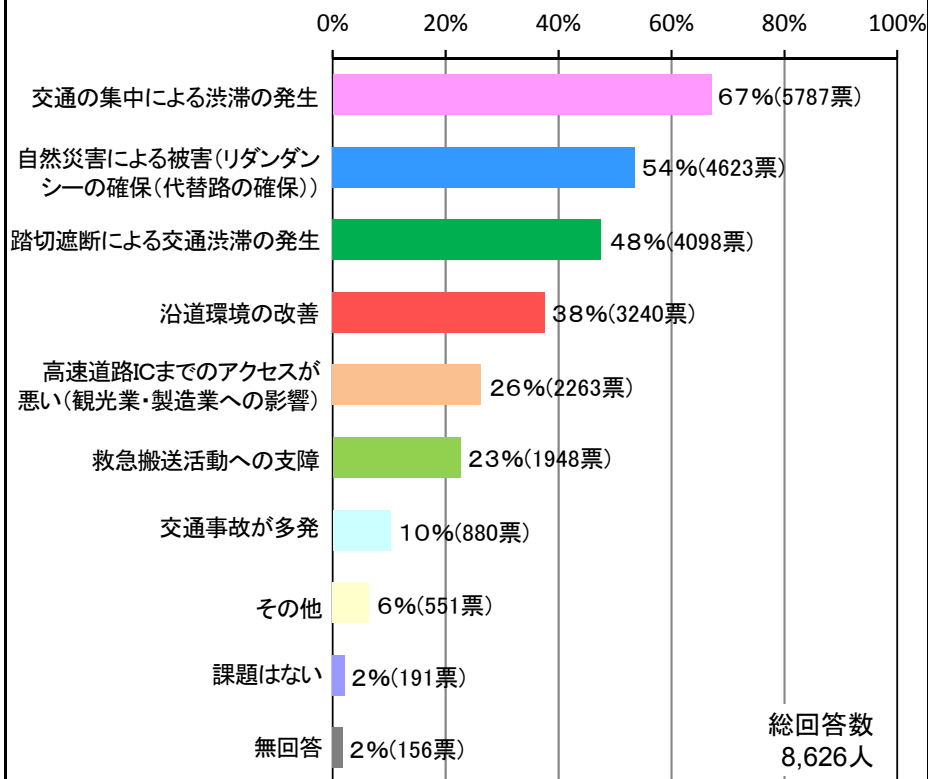
2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票（地域の課題・政策目標）

10

- ◆ 諏訪地域の課題では「交通の集中による渋滞の発生」が約7割と最も多く、次いで「自然災害による被害」との回答が約5割。
- ◆ 政策目標の案では、「交通の円滑化」が約7割、次いで「災害に強い代替路の確保」を回答した人が約6割。

諏訪地域の課題

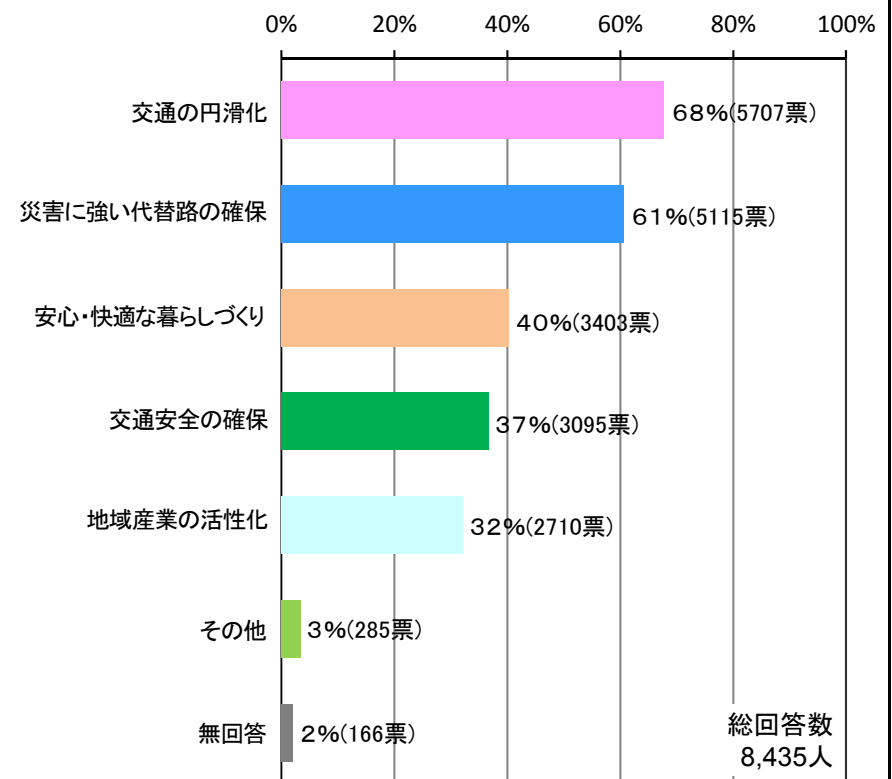
【質問④】 諏訪地域には、どのような課題があると思いますか？
【複数回答】



※割合は総回答数に対する回答数。

課題を解決するための政策目標の案

【質問⑤】 諏訪地域の課題を解決するための政策目標として、どの項目が重要だと思いますか？
【複数回答】



※割合は「質問④で課題はない」を除く回答数に対する回答数。

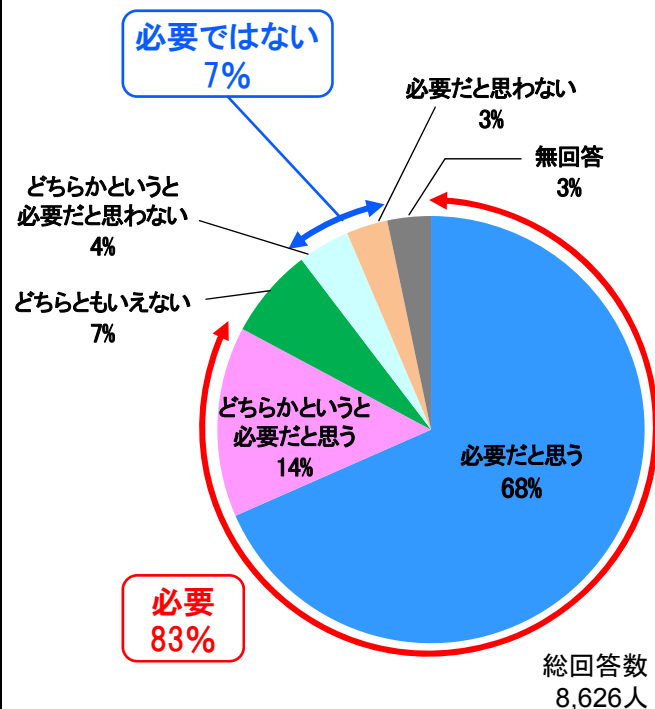
2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票（道路整備の必要性とその理由）

11

- ◆ 約8割の人が、道路整備の必要性を実感。
- ◆ 道路整備の必要性において、「必要」と「必要ではない」と回答した人の地域の課題を比較すると、どちらも「交通の集中による渋滞の発生」が最も多く、それ以外の項目は、順位や割合が大きく異なる。

道路整備の必要性

【質問⑥】 諏訪市から下諏訪町区間の道路整備は必要だと思いますか？ 【単一回答】

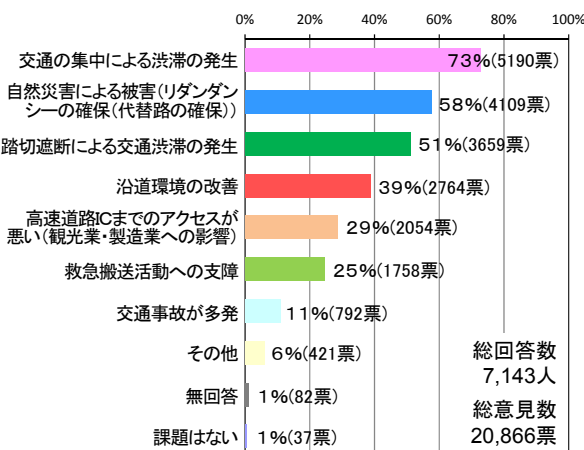


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

諏訪地域の課題

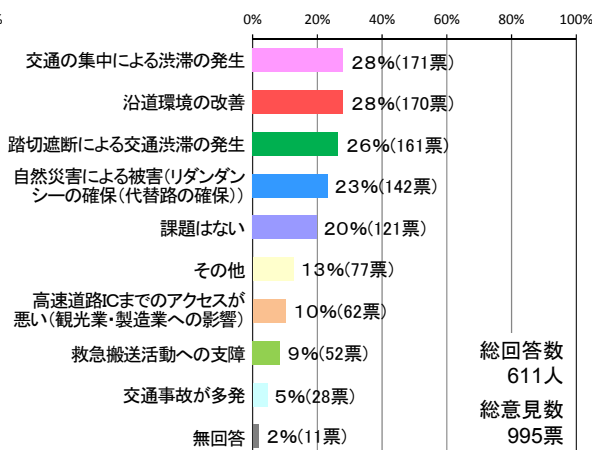
【質問④】 諏訪地域には、どのような課題があると思いますか？ 【複数回答】

【課題(必要)】



※割合は「質問⑥で道路整備が必要、どちらかという必要、どちらともいえない」の総回答数に対する回答数。

【課題(必要ではない)】

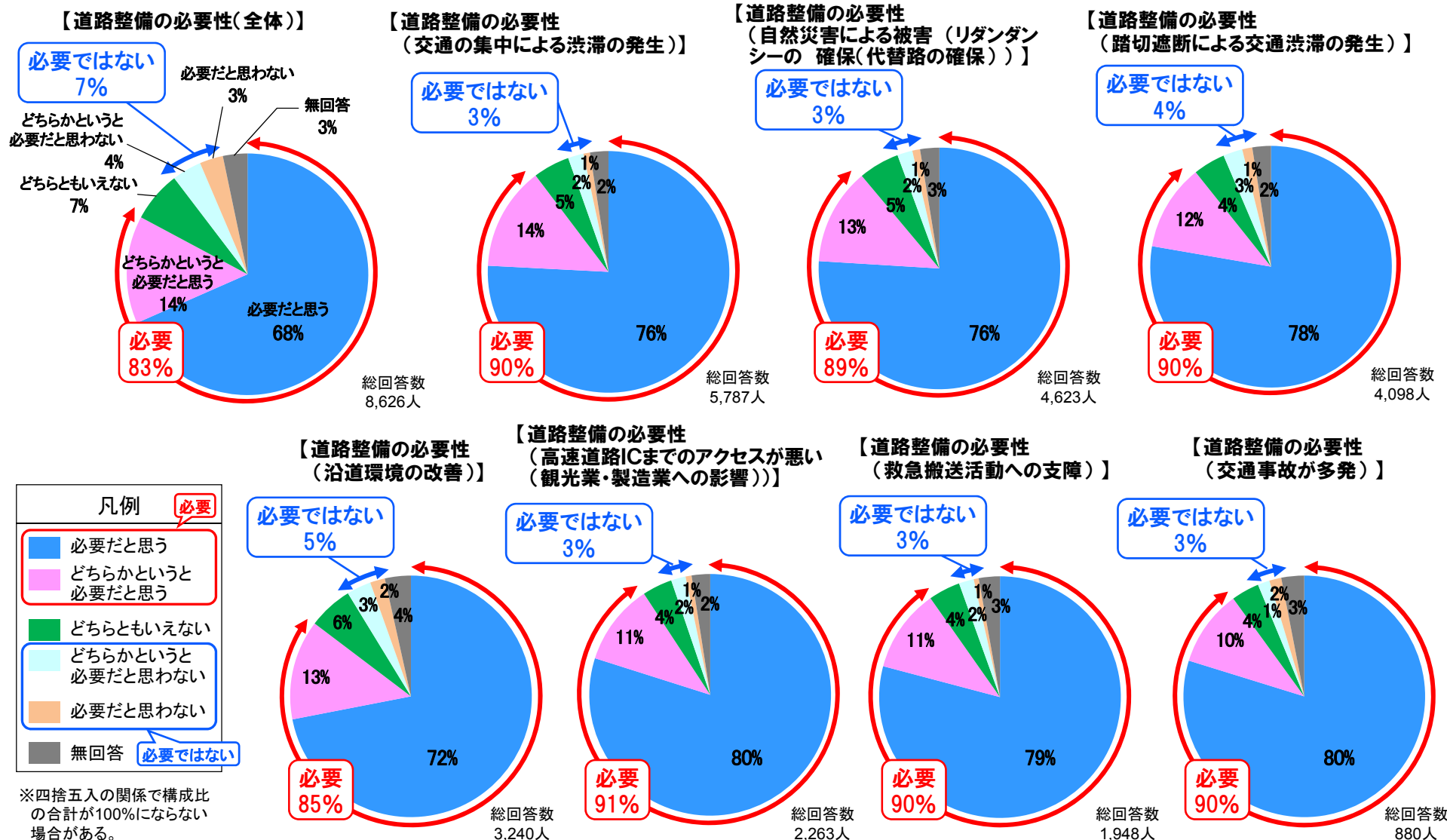


※割合は「質問⑥で道路整備が必要だと思わない、どちらかという必要だと思わない」の総回答数に対する回答数。

2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(道路整備の必要性)

12

- ◆ 道路整備の必要性は8割にとどまるが、地域の課題別でみると、各課題毎で約9割が必要性を認識。
- ◆ 全体で「必要ではない」と回答した1割弱の方の地域の課題を、各課題毎に整理すると、各課題における「必要ではない」との意見は概ね3%程度にとどまる。



2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(自由意見)

13

- ◆ 質問⑦の自由意見は、政策目標のいずれかに分類できる内容が多い。その中でも「交通の円滑化」に関する意見が多い。
- ◆ 質問⑧の自由意見は、「現在の道路で十分」や「道路整備以外の優先することがある」などの意見があった。

【質問⑦】 今後の道路整備にあたって配慮すべき事項があればお聞かせください。【自由回答】

分類		意見聴取による主な自由意見
政策目標に対応する意見分類	災害に強い代替路の確保 【520件】	・諏訪市内では大雨時に <u>道路が冠水</u> するため、排水設備や <u>迂回路の整備</u> が必要だと思います。 ・道路の側面の強化、 <u>地すべり</u> 、 <u>落石</u> 等の対応。
	交通の円滑化 【3,086件】	・国道20号も県道岡谷茅野線も渋滞が激しく災害に弱い為、 <u>東西を結ぶ道路整備</u> が必要。 ・適切な <u>道幅</u> 、交差点の <u>右折レーン</u> 設置。 ・高齢化社会に向け、歩行者に優しい <u>歩道</u> の整備をお願いしたい。
	交通安全の確保 【147件】	・ <u>交通安全</u> を第一として欲しい。
	地域産業の活性化 【190件】	・現状を見て <u>高速へのアクセス</u> 、 <u>工業団地へのアクセス</u> 等を充実して欲しい。
	安心・快適な暮らしづくり 【172件】	・二車線にするなどして <u>救急搬送の改善</u> や渋滞の緩和をしてほしい。

【質問⑧】 道路整備を必要だと思わない理由についてお聞かせください。【自由回答】

分類	意見聴取による主な自由意見
現在の道路で十分 【461件】	・人口減少傾向にある中で、 <u>現状で充分</u> 。今現在可能な整備がされていると思う。
道路整備以外の優先 【152件】	・道路よりも <u>観光資源に予算を使うべき</u> である。

【質問⑨】 その他ご意見がありましたらお聞かせください。【自由回答】

分類	意見聴取による主な自由意見
その他の意見 【3,839件】	・岡谷、上諏訪間の <u>水害に強いバイパス</u> が必要だと思います。 ・未整備区間の <u>早期着工</u> 、 <u>完成</u> を望みます。 ・国道は <u>踏切で遮断</u> されないように整備すべきだと考える。

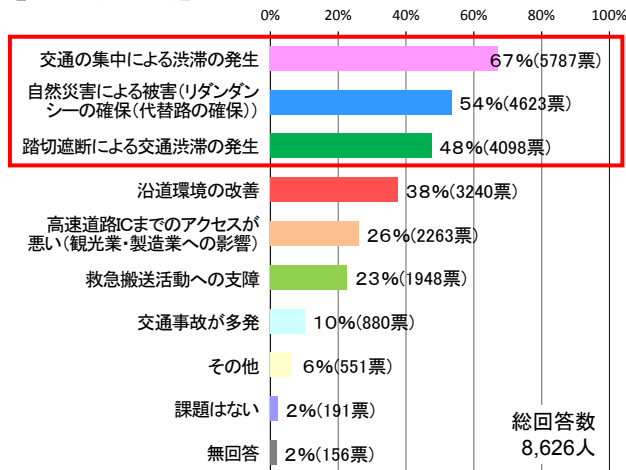
※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1～500件→1件掲載、意見数501～1000件→2件掲載、意見数1001件～→3件掲載。

2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(地区別の地域の課題)

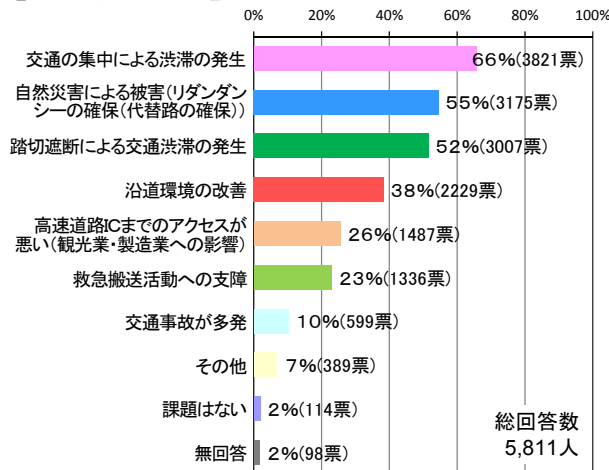
14

- ◆ 地域別に見ても「交通の集中による渋滞の発生」、「自然災害による被害」に続き、3番目に「踏切遮断による交通渋滞の発生」との課題を認識している人が多い。
- ◆ 長野県外では、「自然災害による被害」よりも「踏切遮断による交通渋滞の発生」、「高速道路ICまでのアクセスが悪い」との課題を認識している人がある。

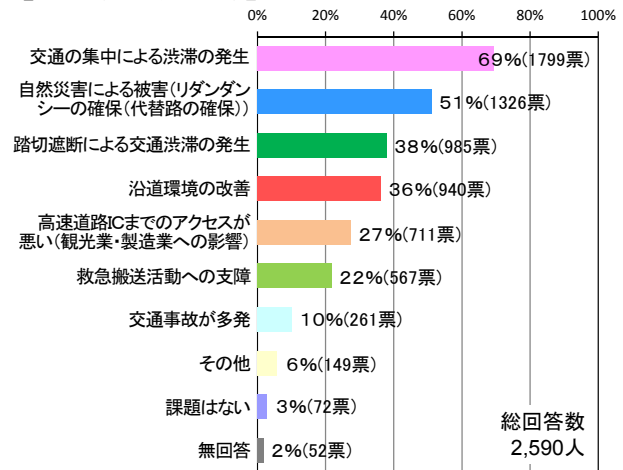
【課題(全体)】



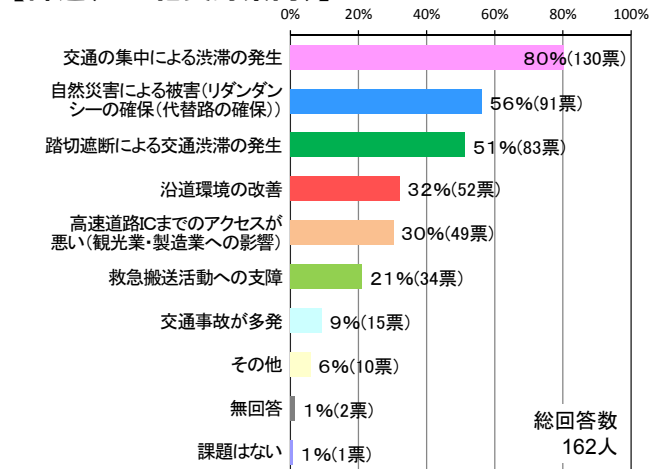
【課題(諏訪市)】



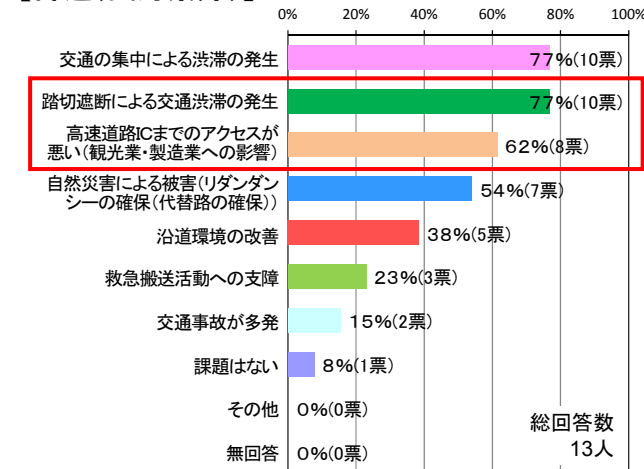
【課題(下諏訪町)】



【課題(その他長野県内)】



【課題(長野県外)】



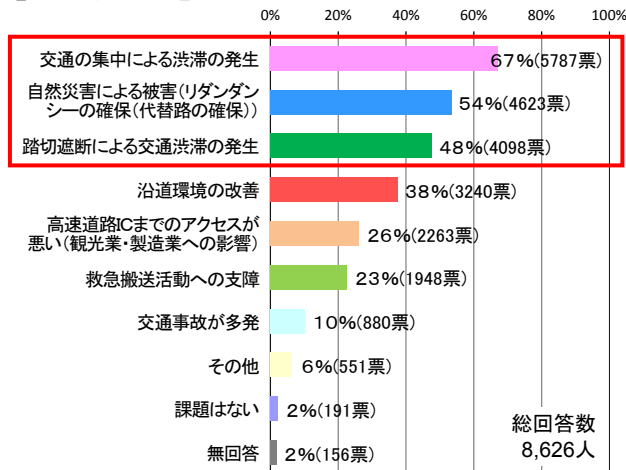
※割合は総回答数に対する回答数。

2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票（利用頻度別の地域の課題）

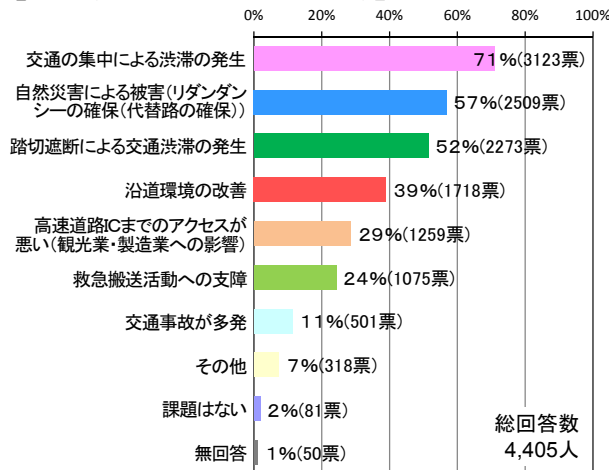
15

- ◆ 国道20号の利用頻度別に見ても「交通の集中による渋滞の発生」、「自然災害による被害」に続き、3番目に「踏切遮断による交通渋滞の発生」との課題を認識している人が多い。
- ◆ 「利用したことがない」人も、約3割が「交通の集中による渋滞の発生」などを認識。

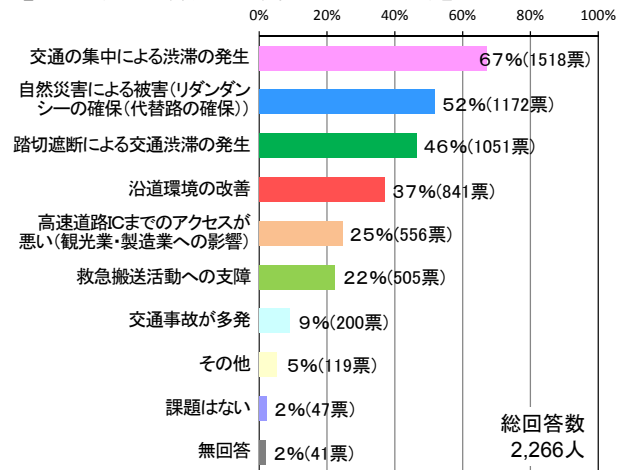
【課題(全体)】



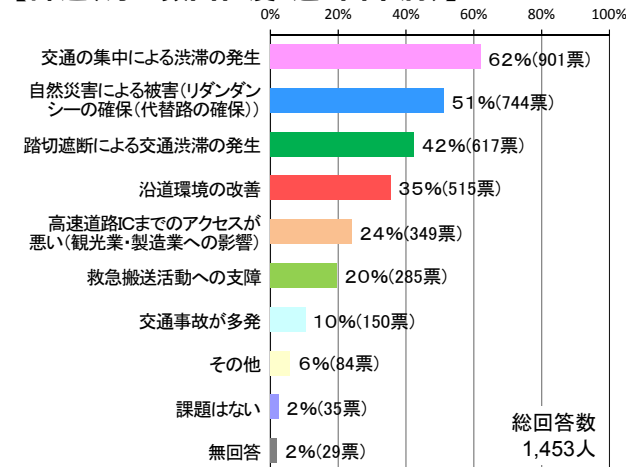
【課題(ほぼ毎日:週4~7回)】



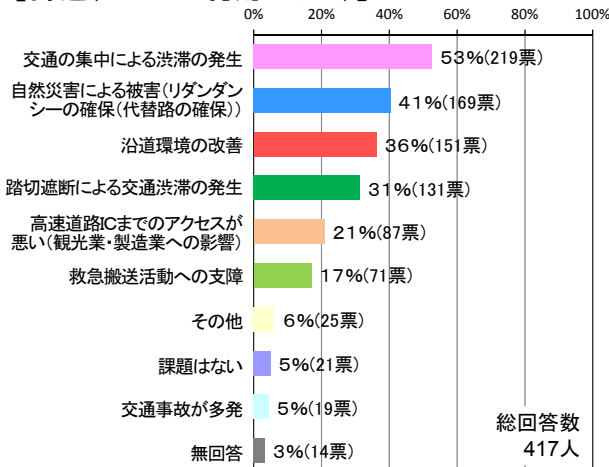
【課題(週に数回程度:週2~3回)】



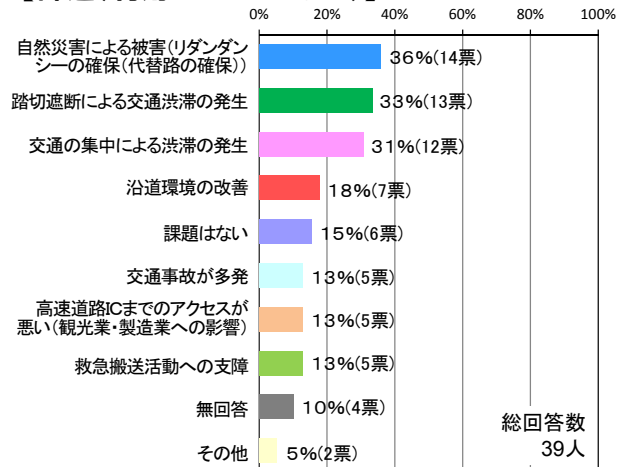
【課題(月に数回程度:週1回未満)】



【課題(ほとんど利用しない)】



【課題(利用したことがない)】



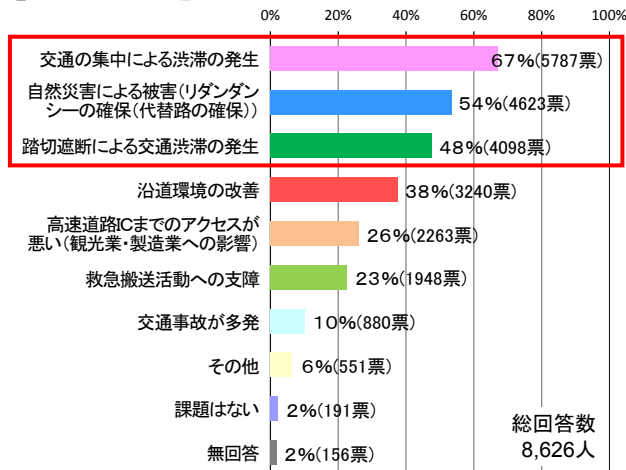
※割合は総回答数に対する回答数。

2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(利用目的別の地域の課題)

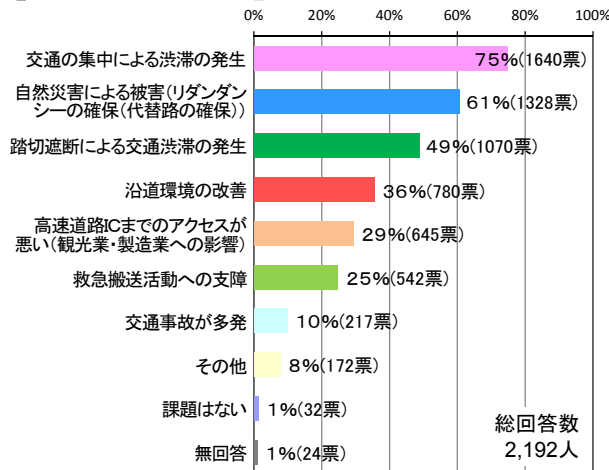
16

- ◆ 国道20号の利用目的別に見ても「交通の集中による渋滞の発生」、「自然災害による被害」に続き、3番目に「踏切遮断による交通渋滞の発生」との課題を認識している人が多い。
- ◆ 課題の認識について、利用目的による差異は小さい。

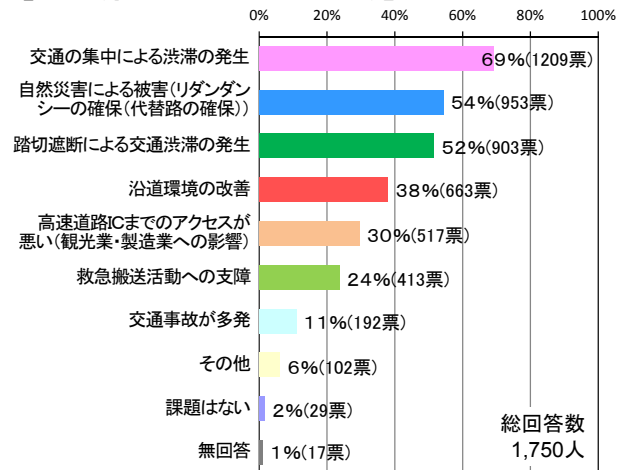
【課題(全体)】



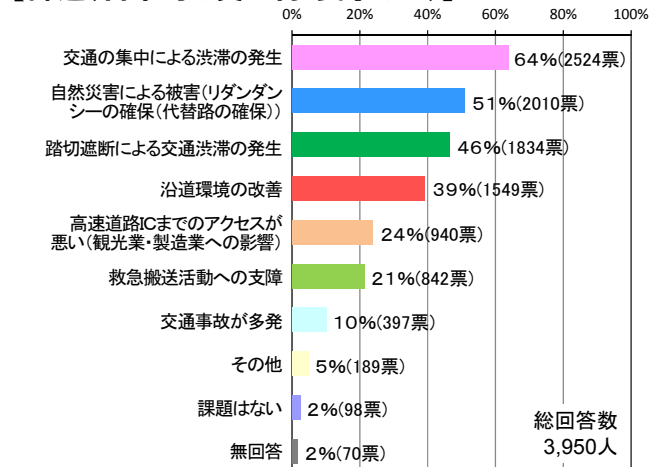
【課題(通勤・通学)】



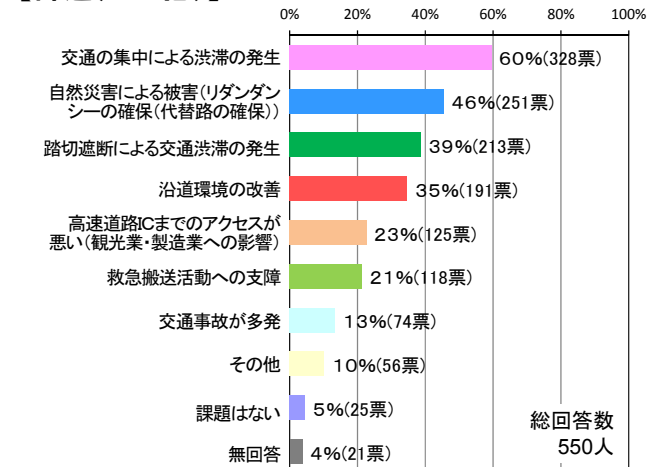
【課題(仕事・営業・運送など)】



【課題(日常的な買い物・食事など)】



【課題(その他)】



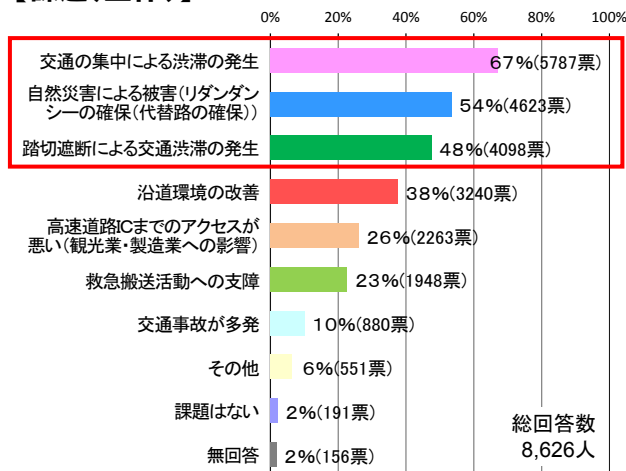
※割合は総回答数に対する回答数。

2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(学生・高齢者の意見)

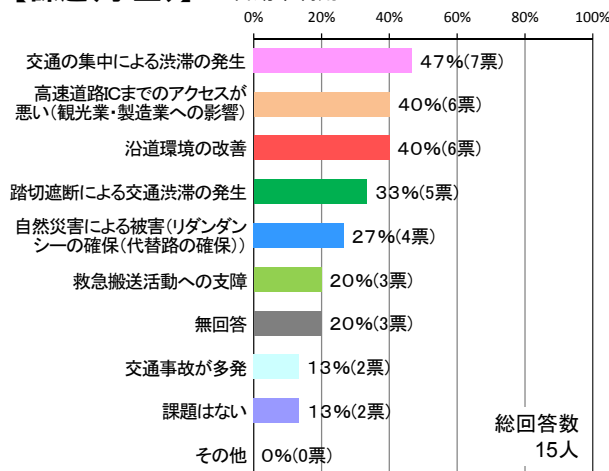
17

- ◆ 学生や高齢者は、全体と比べて「交通の集中による渋滞の発生」を課題と認識している傾向は同様。
- ◆ 全体と比較して、学生は「高速道路ICまでのアクセスが悪い」、高齢者は「踏切遮断による交通渋滞の発生」を課題と認識している人が多い。

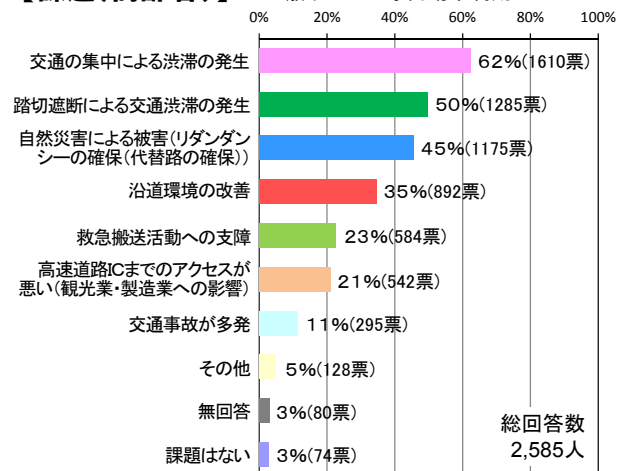
【課題(全体)】



【課題(学生)】 ※自動車利用:40%



【課題(高齢者)】 ※70歳以上の人。自動車利用:82%



※割合は総回答数に対する回答数。

【質問⑦】 今後の道路整備にあたって配慮すべき事項があればお聞かせください。【自由回答】

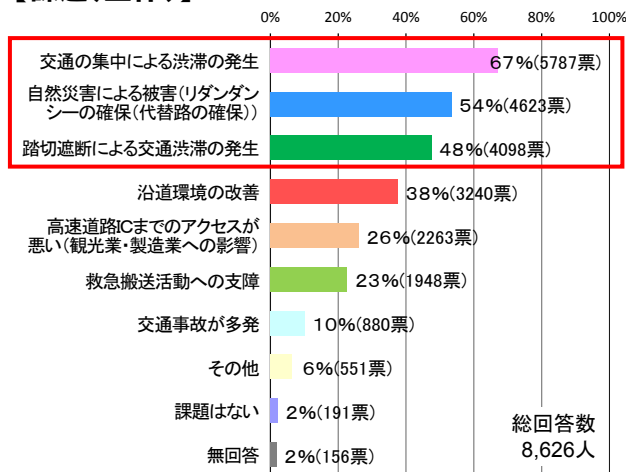
分類	意見聴取による主な自由意見
学生 【5件】	・十分な道幅を確保すると同時に、ゆとりある歩道の整備も検討すべきである。 ・歩行者、自転車特に凍結時期の安全のための道路確保。
高齢者 (70歳以上の人) 【1,659件】	・大雪のとき、なかなか雪がかたづかず歩くのが大変。 ・高齢者、特に歩行者、車イスで通行できる歩道を是非作ってほしい。 ・車中心になりすぎている、徒歩者の事も考えて、道路整備をしてほしい、高齢社会の現実も考えてほしい。 ・市外地を通可する大型車をうまく誘導出来る様な道路作りを考えたいものです。 ・公共施設等がある所は、救急車の通り道もよく考えて頂きたいです！！

2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(交通弱者の課題)

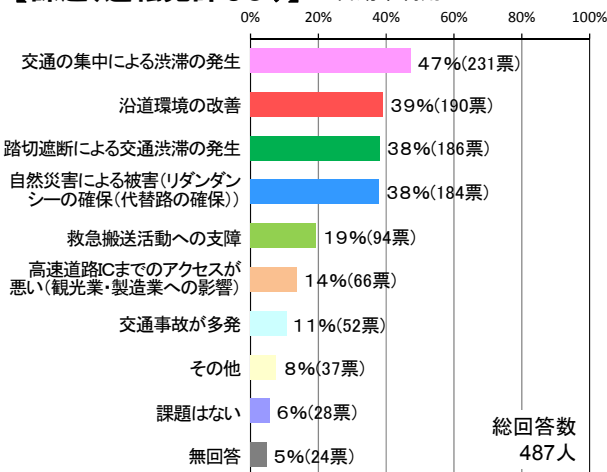
18

- ◆ 運転免許がない人やふだん自動車を利用しない人は、全体と比べて「交通の集中による渋滞の発生」を課題と認識している傾向は同様。
- ◆ 全体と比較して、運転免許がない人やふだん自動車を利用しない人は「沿道環境の改善」を課題と認識している人が多い。

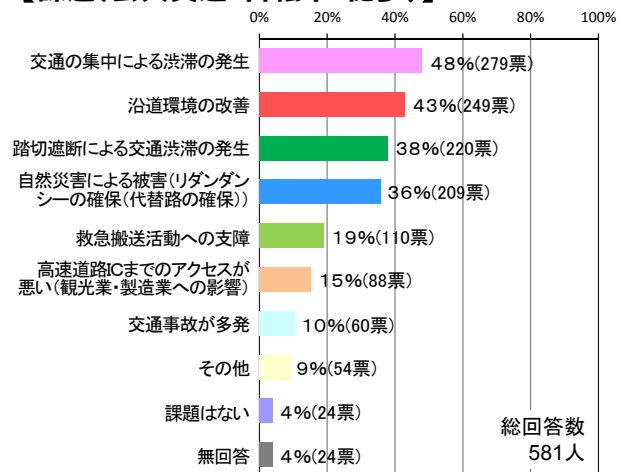
【課題(全体)】



【課題(運転免許なし)】 ※自動車利用: 22%



【課題(公共交通・自転車・徒歩)】



※割合は総回答数に対する回答数。

【質問⑦】 今後の道路整備にあたって配慮すべき事項があればお聞かせください。【自由回答】

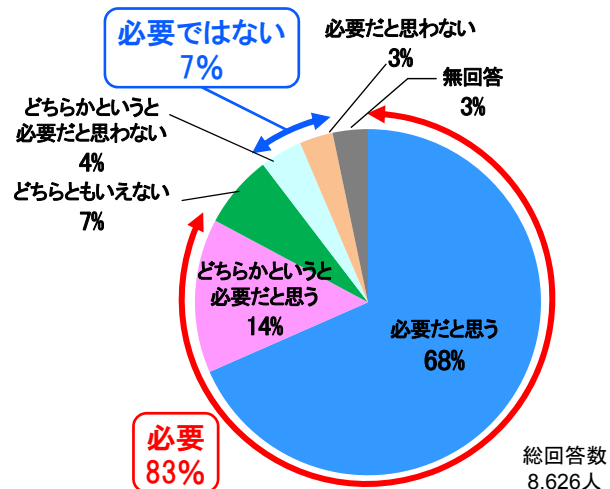
分類	意見聴取による主な自由意見
運転免許なし 【254件】	・大雨が降ると水はけがわるく歩道沓水がたまってしまう。 ・産業界、通勤者は一分一秒でも早く目的地に着きたいと思うが、住民は<u>安心・安全</u>をねがう。 ・全く運転をしません。道路に<u>不満はありません</u>。
主な移動手段が公共交通・自転車・徒歩 【355件】	・<u>路線バス</u>を必ず通す事。全線1日5本以上。 ・歩道のアップダウンをなくす。<u>自転車</u>の通行が困難。側溝の網の上を通るからすべる。 ・<u>歩行者</u>の安全確保 段差が有ったり狭かったり危険を感じます。

2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票（地区別の道路整備の必要性）

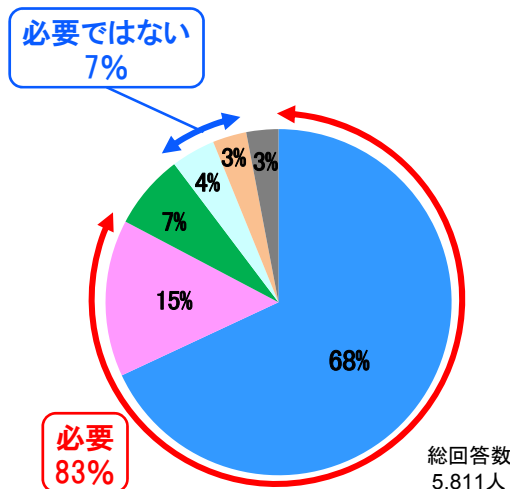
19

◆ 地区別に見ると、「諏訪市」で約8割、「下諏訪町」も約8割と道路整備の必要性について、高い認識がある。

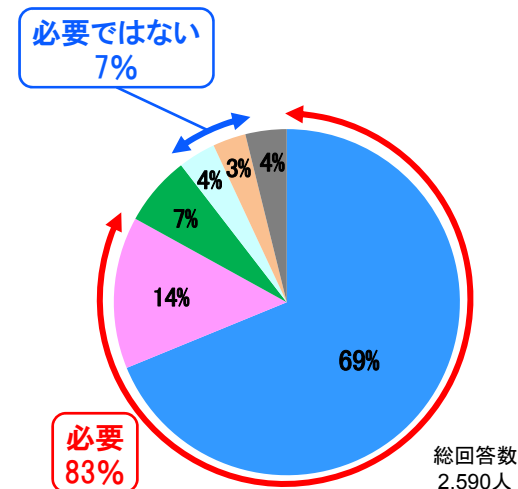
【道路整備の必要性(全体)】



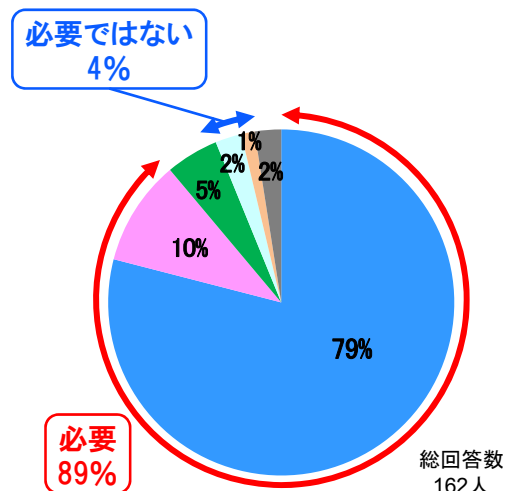
【道路整備の必要性(諏訪市)】



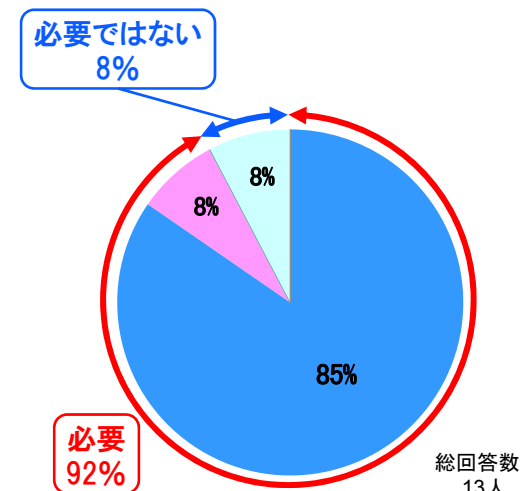
【道路整備の必要性(下諏訪町)】



【道路整備の必要性(その他長野県内)】



【道路整備の必要性(長野県外)】



凡例	
必要だと思う	必要
どちらかという必要だと思う	
どちらかともいえない	
どちらかという必要だと思わない	
必要だと思わない	
無回答	必要ではない

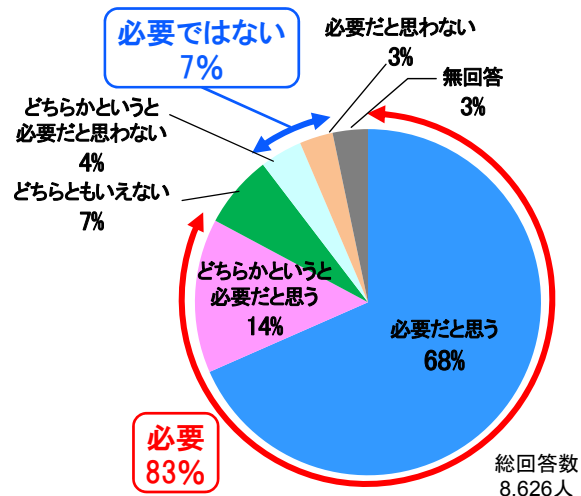
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票（利用頻度別の道路整備の必要性）

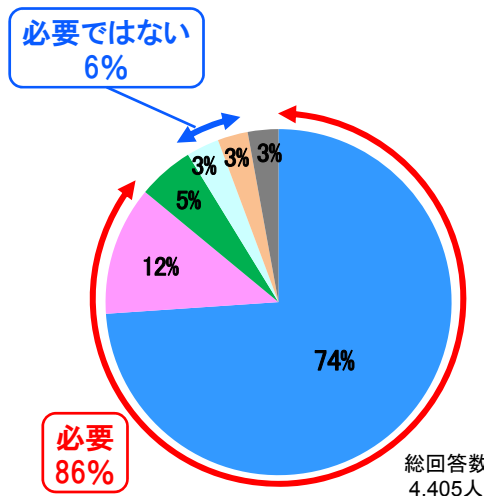
20

◆ 国道20号の利用頻度別に見ると、利用頻度が高い人ほど道路整備の必要性を強く感じている。また、「利用したことがない」との回答者でも、6割以上の方は道路整備の必要性を感じている。

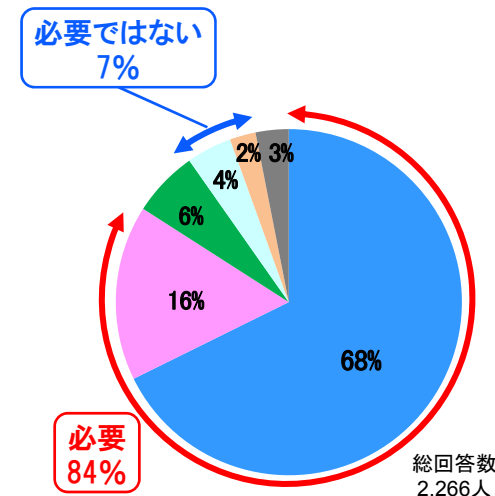
【道路整備の必要性(全体)】



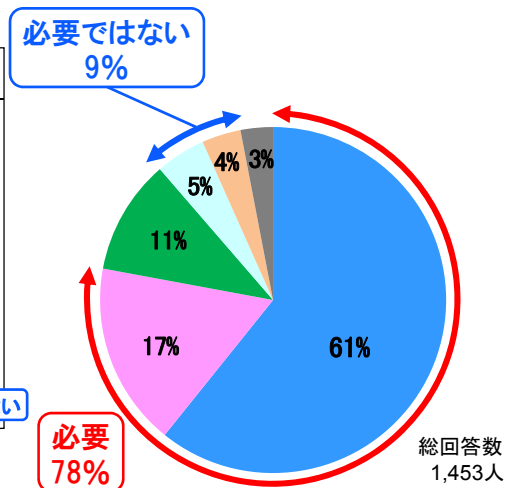
【道路整備の必要性(ほぼ毎日:週4～7回)】



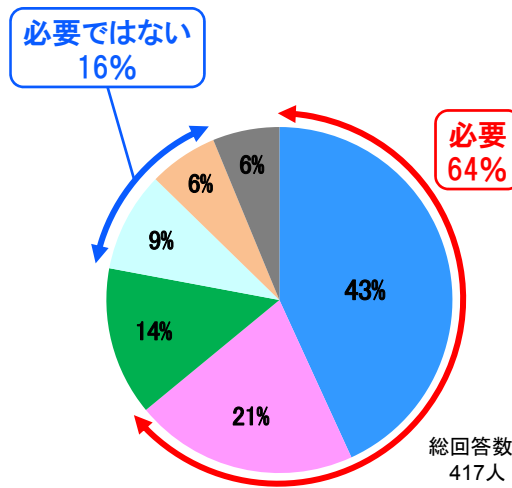
【道路整備の必要性(週に数回程度:週2～3回)】



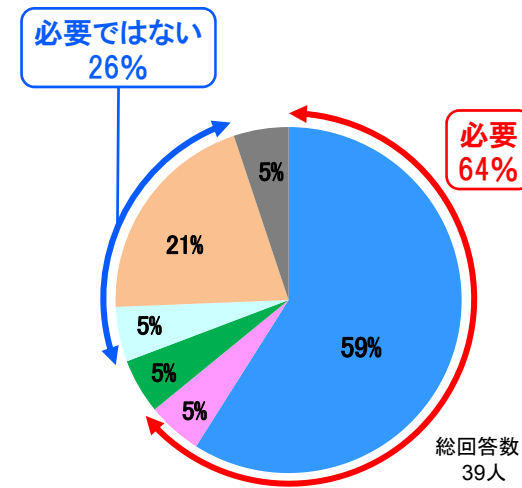
【道路整備の必要性(月に数回程度:週1回未満)】



【道路整備の必要性(ほとんど利用しない)】



【道路整備の必要性(利用したことがない)】



凡例

必要

必要だと思う

どちらかという必要だと思う

どちらともいえない

どちらかという必要だと思わない

必要だと思わない

無回答

必要ではない

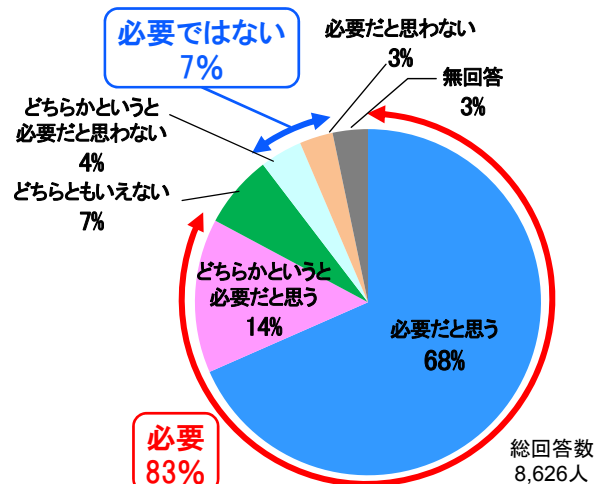
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票 (利用目的別の道路整備の必要性)

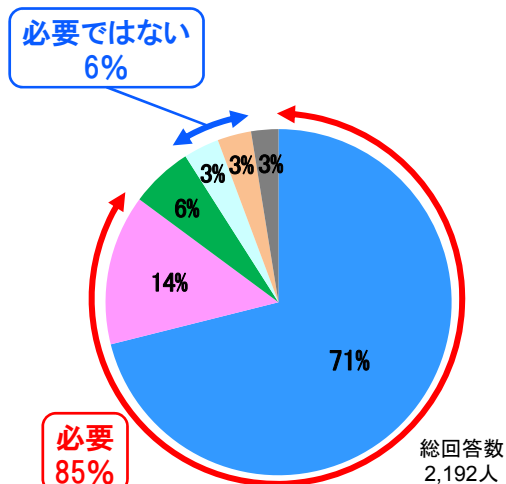
21

◆ 国道20号の利用目的別に見ても、「通勤・通学」で約9割、「仕事」で約9割、「買い物・食事など」で約8割と道路整備の必要性を高く感じている。

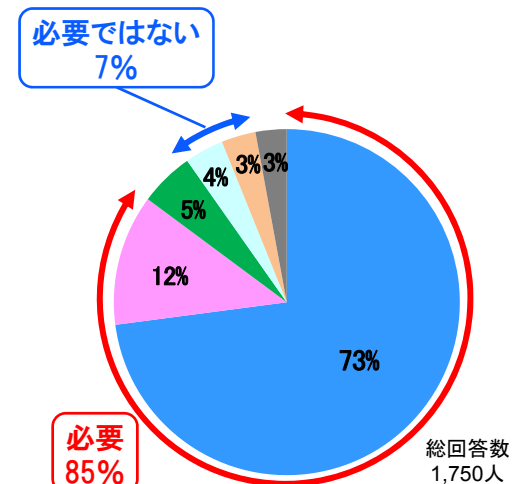
【道路整備の必要性(全体)】



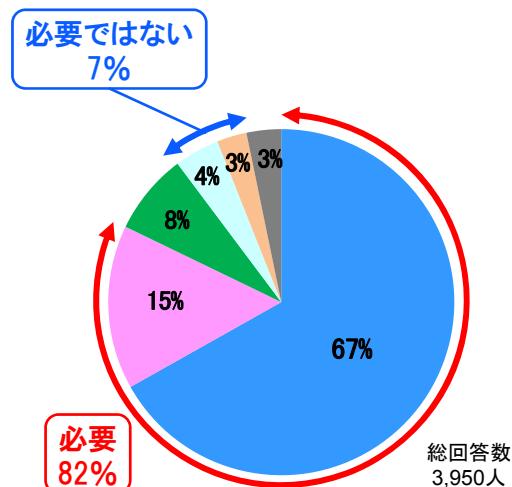
【道路整備の必要性(通勤・通学)】



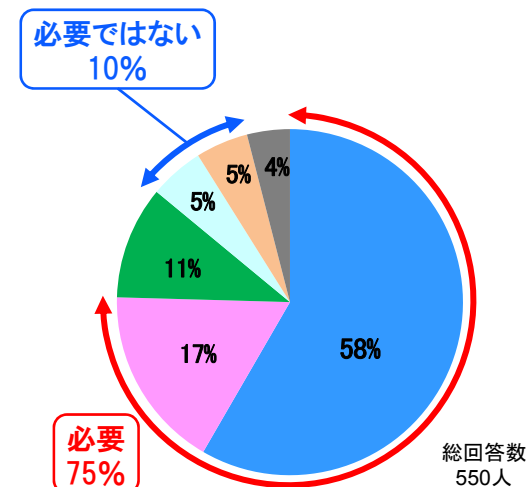
【道路整備の必要性(仕事(営業・運送など))】



【道路整備の必要性(日常的な買い物・食事など)】



【道路整備の必要性(その他)】



凡例

必要

必要だと思う

どちらかという必要だと思う

どちらともいえない

どちらかという必要だと思わない

必要だと思わない

無回答

必要ではない

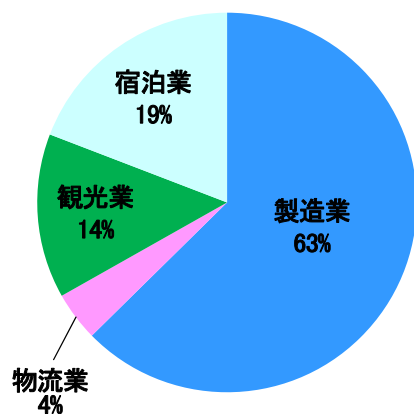
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

2-2. 意見聴取の結果 事業者への調査票(属性・利用状況)

22

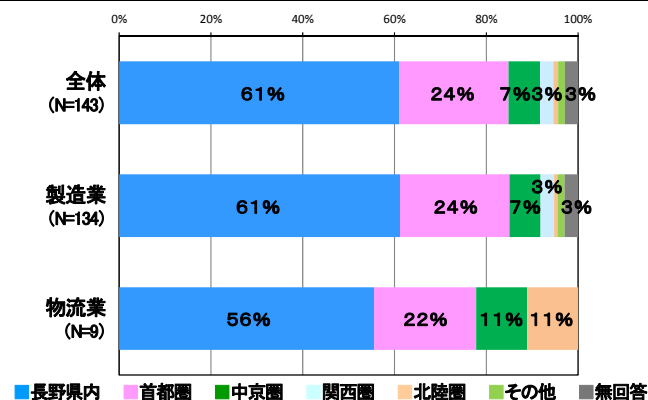
- ◆ 事業者の業種分類は、製造業が約6割、宿泊業が約2割、観光業が約1割。
- ◆ 製造業や物流業の出荷先は、長野県内が約6割、首都圏が約2割。
- ◆ 製造業では、約4割が国道20号を利用、物流業では、約7割が国道20号を利用。
- ◆ 観光業では、観光客の約6割が首都圏から来訪、宿泊業では、観光客の約8割が首都圏から来訪。
- ◆ 諏訪地域までの移動手段は、電車が約3割、バスが約2割、自動車・バイクが約4割、諏訪地域内での移動手段では、電車の割合が減少し、徒歩の割合が増加。

業種区分

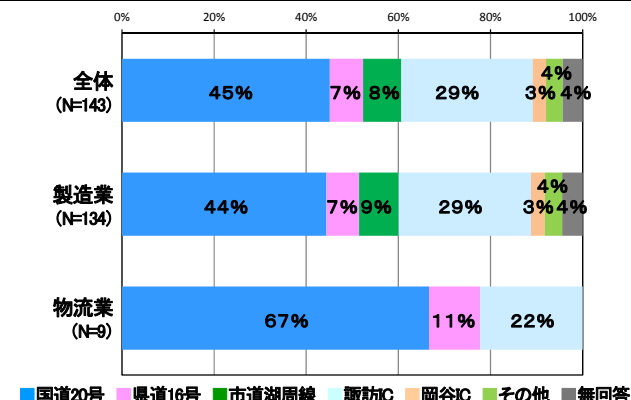


<総回答数 214社>

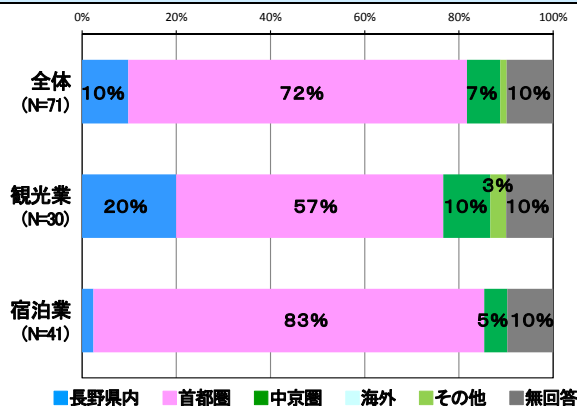
【製造業・物流業】出荷先



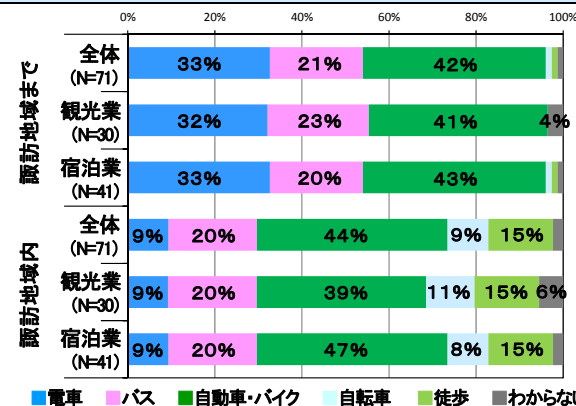
【製造業・物流業】利用路線・IC



【観光業・宿泊業】観光客の出発地



【観光業・宿泊業】観光客の移動手段



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

2-2. 意見聴取の結果 事業者への調査票（地域の課題・政策目標）

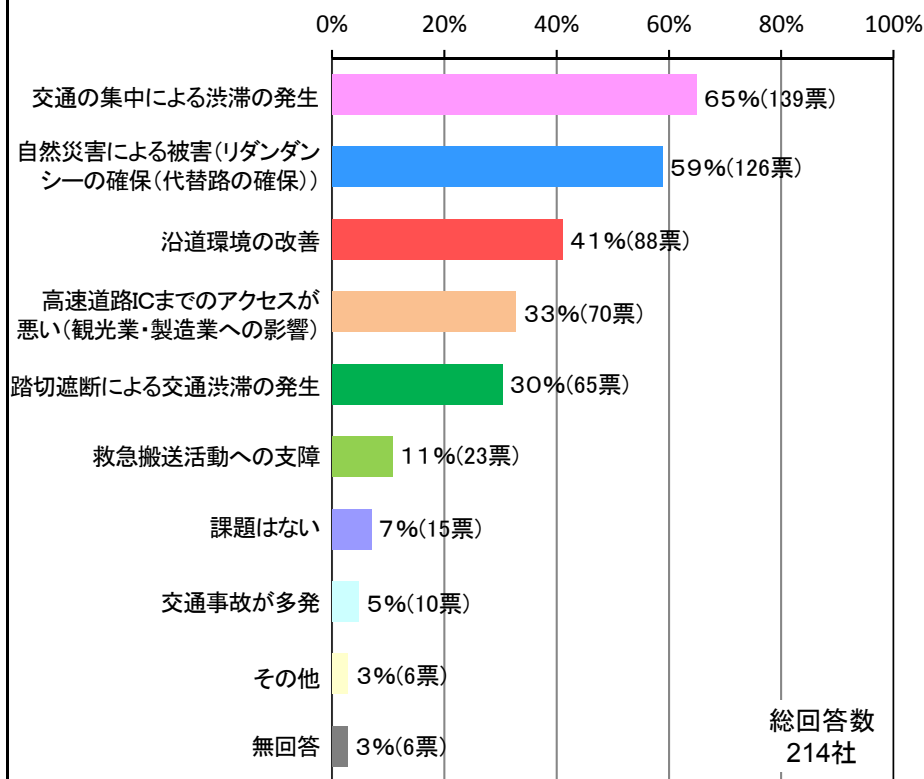
23

- ◆ 回答された約7割が「交通の集中による渋滞の発生」、約6割が「自然災害による被害」との課題を認識。
- ◆ 政策目標では、「交通の円滑化」が約7割と最も多く、次いで「災害に強い代替路の確保」、「地域産業の活性化」が半数以上と多い。

諏訪地域の課題

【質問④】 諏訪地域には、どのような課題があると思いますか？

【複数回答】

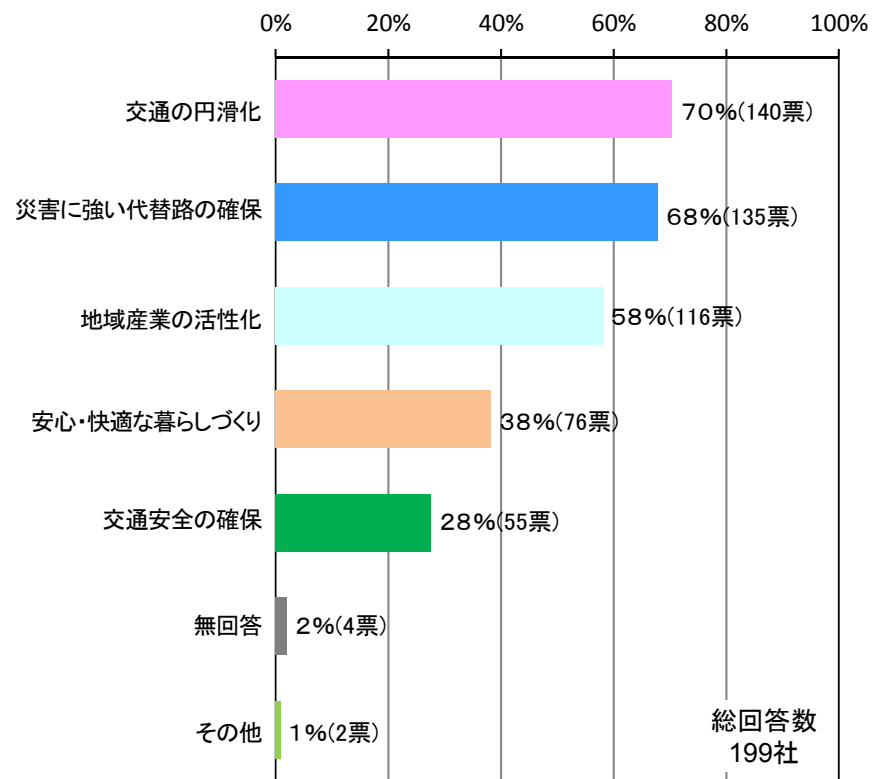


※割合は総回答数に対する回答数。

課題を解決するための政策目標の案

【質問⑤】 諏訪地域の課題を解決するための政策目標として、どの項目が重要だと思いますか？

【複数回答】



※割合は「質問④で課題はない」を除く回答数に対する回答数。

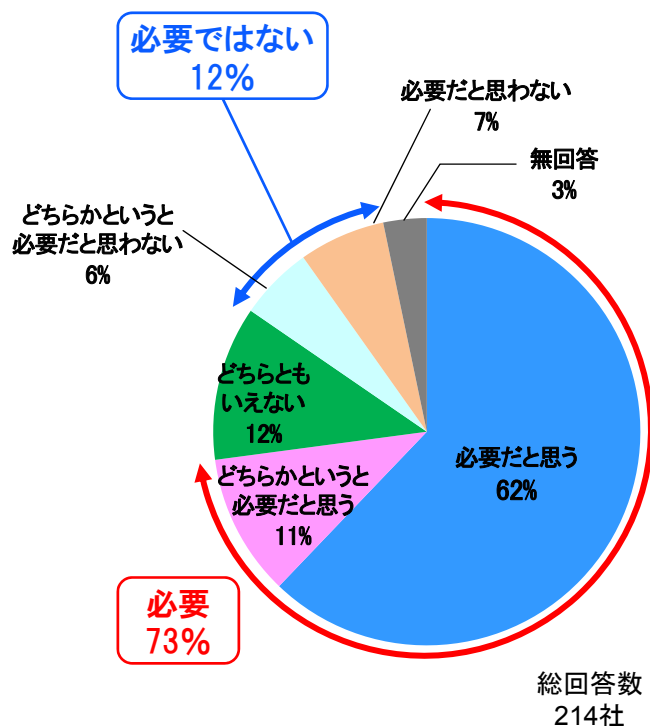
2-2. 意見聴取の結果 事業者への調査票 (道路整備の必要性とその理由)

24

- ◆ 約7割の事業者が、道路整備の必要性を実感。
- ◆ 道路整備の必要性において、「必要」と「必要ではない」と回答した人の地域の課題を比較すると、項目の順位や割合が大きく異なる。

道路整備の必要性

【質問⑥】 諏訪市から下諏訪町区間の道路整備は必要だと思いますか？ 【単一回答】

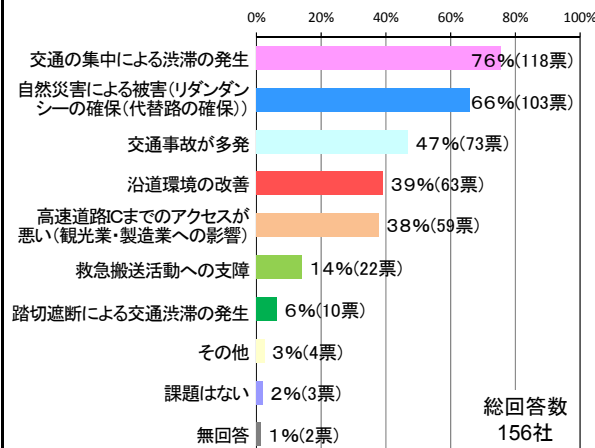


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

諏訪地域の課題

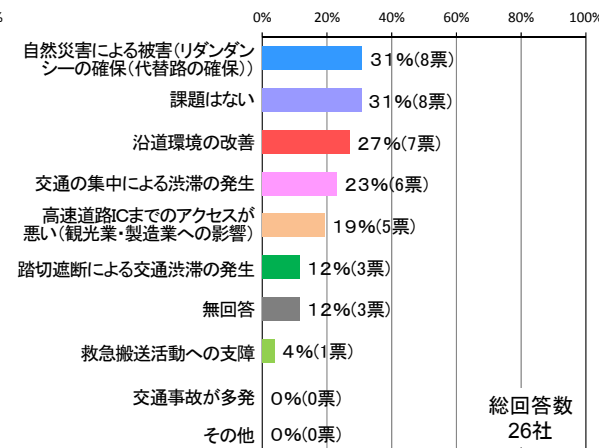
【質問④】 諏訪地域には、どのような課題があると思いますか？ 【複数回答】

【課題(必要)】



※割合は「質問⑥で道路整備が必要、どちらかという必要、どちらともいえない」の総回答数に対する回答数。

【課題(必要ではない)】



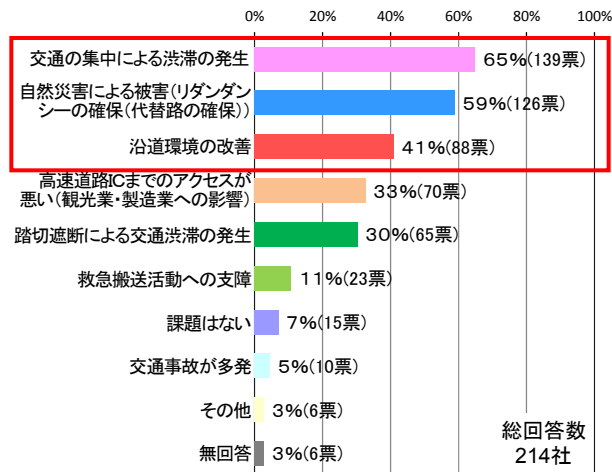
※割合は「質問⑥で道路整備が必要だと思わない、どちらかという必要だと思わない」の総回答数に対する回答数。

2-2. 意見聴取の結果 事業者への調査票（業種別の地域の課題）

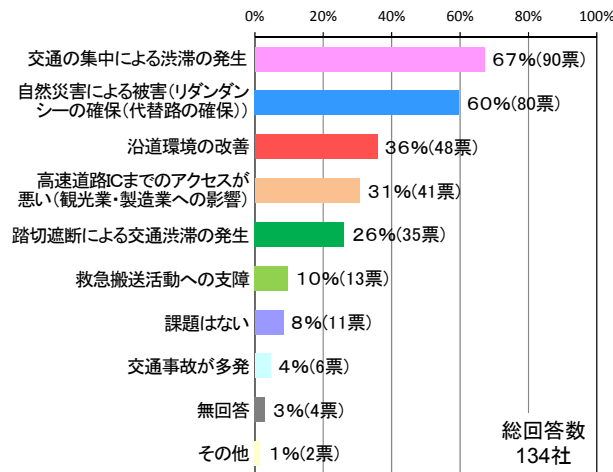
25

- ◆ 全体では「交通の集中による渋滞の発生」が約7割と最も多く、次いで「自然災害による被害」、「沿道環境の改善」を課題と認識。
- ◆ 業種別の課題については、物流業は「自然災害による被害」、宿泊業は「沿道環境の改善」が最も多い。

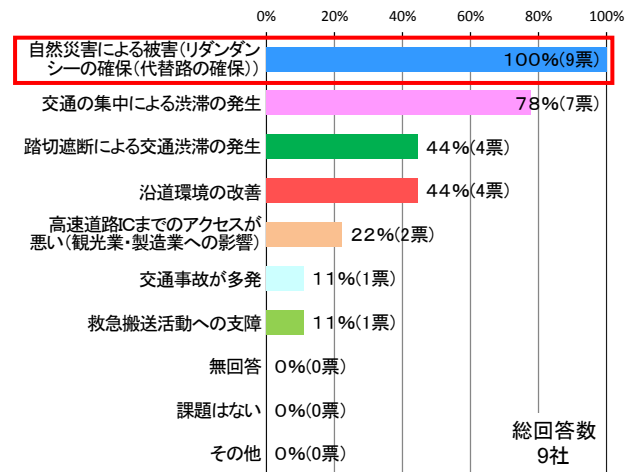
【課題（全体）】



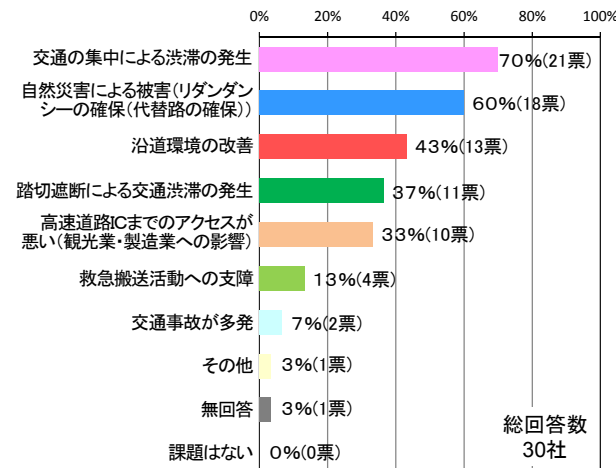
【課題（製造業）】



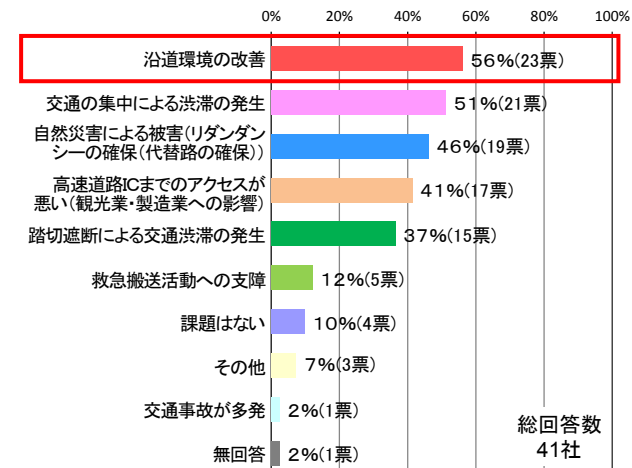
【課題（物流業）】



【課題（観光業）】



【課題（宿泊業）】



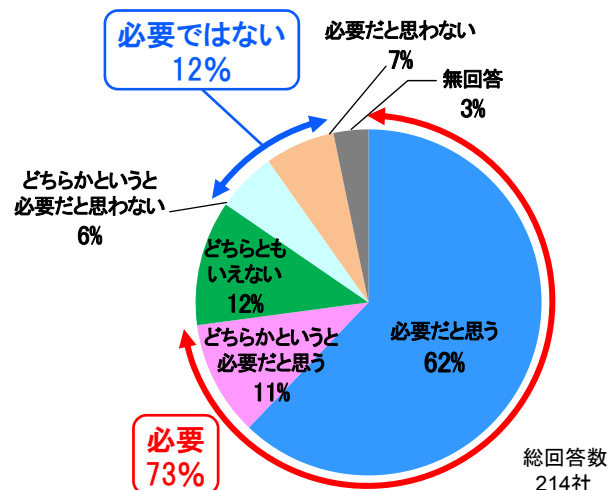
※割合は総回答数に対する回答数。

2-2. 意見聴取の結果 事業者への調査票（業種別の道路整備の必要性）

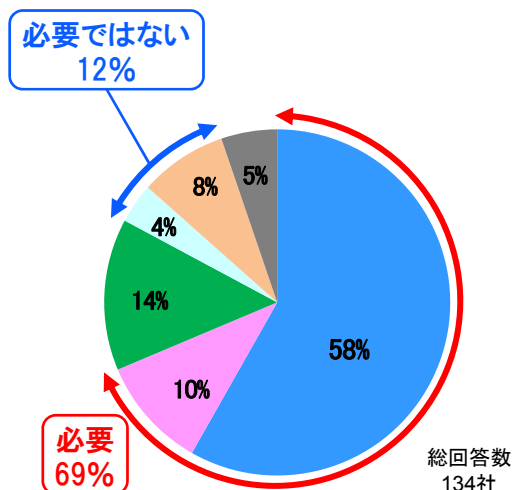
26

◆ 業種別の必要性については、物流業は全ての事業者が「必要だと思う」「どちらかと言うと必要だと思う」と回答。
また、県外観光客の多い観光業や宿泊業でも約8割が「必要だと思う」「どちらかと言うと必要だと思う」と回答。

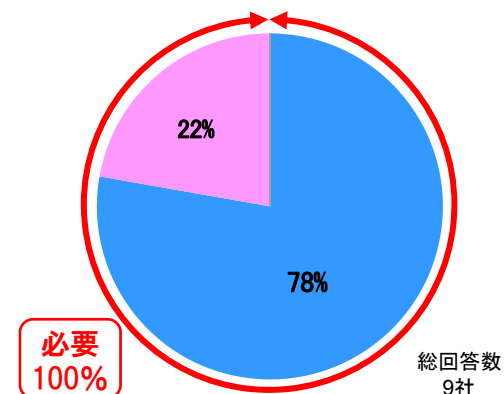
【道路整備の必要性(全体)】



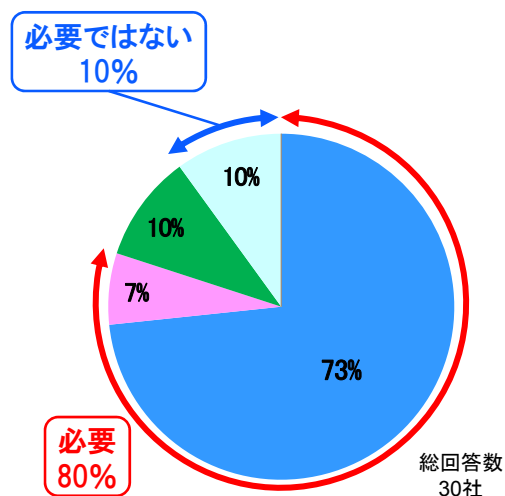
【道路整備の必要性(製造業)】



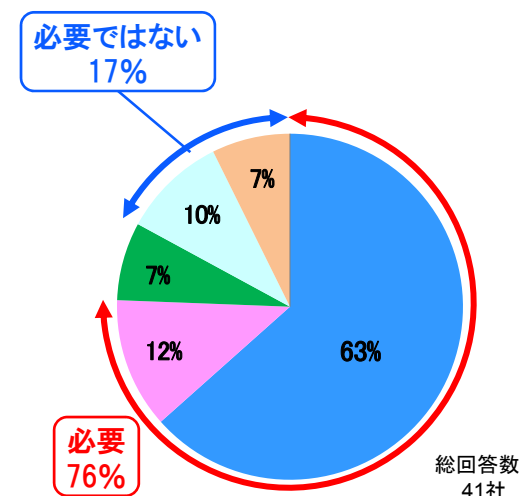
【道路整備の必要性(物流業)】



【道路整備の必要性(観光業)】



【道路整備の必要性(宿泊業)】



凡例	
必要だと思う	必要
どちらかと言うと必要だと思う	必要
どちらかともいえない	
どちらかと言うと必要だと思わない	
必要だと思わない	
無回答	必要ではない

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

2-2. 意見聴取の結果 事業者への調査票(自由意見)

27

- ◆ 質問⑦の自由意見は、政策目標のいずれかに分類できる内容が多い。その中でも「交通の円滑化」に関する意見が多く、「災害に強い代替路の確保」に関する意見もあった。

【質問⑦】 今後の道路整備にあたって配慮すべき事項があればお聞かせください。【自由回答】

分類		意見聴取による主な自由意見
政策目標に対応する意見分類	災害に強い代替路の確保 【19件】	・水害、雪害、霧の <u>自然災害対策</u> 、鉄道の高架、複線他が <u>進展しない</u> 、対応が遅い。 ・災害の時、 <u>う回路</u> となれること。今回の大雪が参考になるよう考えて欲しい。
	交通の円滑化 【107件】	・ <u>道路幅を広く</u> 曲がりやを少なくして欲しい。 ・交通渋滞がおこると <u>流通にも影響がある</u> のでバイパスを早く作って下さい。 ・ <u>国道に2か所も踏切横断がある</u> ところはここだけだと思います。バイパス等で踏切をさけるべきである。
	交通安全の確保 【4件】	・車、自転車、歩行者がそれぞれ <u>安全な道路</u> 。
	地域産業の活性化 【14件】	・ <u>地域間の交流が促進</u> されるような道路整備。 ・諏訪湖、上諏訪温泉までの <u>時間短縮</u> 。
	安心・快適な暮らしづくり 【2件】	・ <u>救急搬送</u> が円滑にできる。

【質問⑧】 道路整備を必要だと思わない理由についてお聞かせください。【自由回答】

分類	意見聴取による主な自由意見
現在の道路で十分 【19件】	・この狭い場所に <u>これ以上道路は必要ない</u> 。 ・今のままでも <u>お客様から道に関してはそれほど不満は出ていない</u> ように思う。
道路整備以外の優先 【6件】	・ <u>道路整備しても</u> 平地の無い下諏訪は <u>発展しない</u> 。

【質問⑨】 その他ご意見がありましたらお聞かせください。【自由回答】

分類	意見聴取による主な自由意見
その他の意見 【149件】	・水害、積雪に対応できる道路又は <u>代替路確保</u> 。 ・道路整備時、 <u>交通渋滞等</u> 無いようにしていただきたい。 ・早急に <u>バイパスをつくって</u> 欲しい。

※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1～10件→1件掲載、意見数11～50件→2件掲載、意見数51件～→3件掲載。

2-3. 意見聴取の結果 事業者ヒアリング（業種別の傾向）

28

- ◆「災害に強い代替路の確保」「交通の円滑化」に関する意見は、全業種で挙げられ、課題として認識されている。
- ◆「交通安全の確保」や「地域産業の活性化」「安心・快適な暮らしづくり」についても、関連する業種で意見が挙げられた。
- ◆ 地域経済を担う、製造業・物流業、観光業からは「地域産業の活性化」が求められている。
- ◆ その他の意見としては、今後の進め方や、これまでの検討に関する関わり方などが挙げられた。

凡例：
●：言及あり
－：言及なし

■事業者ヒアリングにおける課題や政策目標への言及の状況

業種 意見分類	製造業・物流業 (8社)	観光業 (9社)	消防・医療機関 (2社)	公共交通機関 (4社)
災害に強い代替路の確保	●	●	●	●
交通の円滑化	●	●	●	●
交通安全の確保	●	●	－	●
地域産業の活性化	●	●	－	－
安心・快適な暮らしづくり	－	●	●	－
その他	●	●	●	●

2-3. 意見聴取の結果 事業者ヒアリング（地域課題等への意見）

29

- ◆ 主な意見として、事業への影響として、災害への対策や交通の円滑化に関する意見が多い。
- ◆ 国道20号が混雑する原因として、交通の集中、踏切、幅員狭小、右折レーンがないなどが挙げられている。
- ◆ 地域の課題や期待について、業界に限らず、類似した意見を持っており、地域として早期着工・早期開通を望んでいる声が多い。

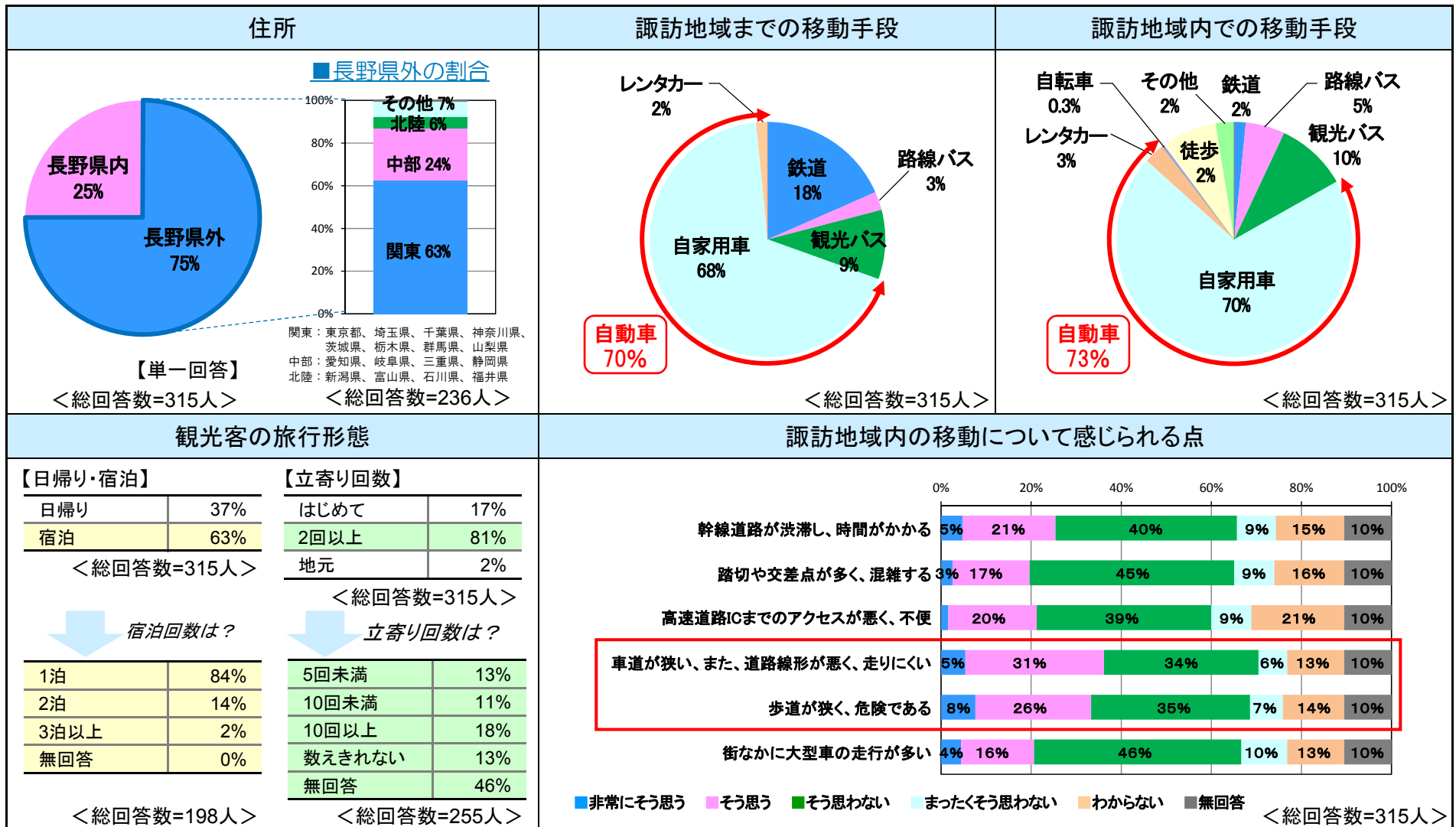
分類		事業者ヒアリングにおける主な自由意見
政策目標に対応する意見分類	災害に強い代替路の確保 【12件】	・大雨や大雪の悪天候により、大きな混雑が生じる。【製造業・物流業】 ・豪雪をはじめとした防災に対する備えを考えてほしい。【製造業・物流業】 ・<u>竜巻、ゲリラ豪雨が諏訪地域で多くなっている</u>。大雨の災害の時は、国道、側道がすべて通行不能になるために、今以上に道路整備を積極的に行ってほしい。【観光業】 ・トンネルのように<u>天候に左右されない道路</u>がほしい。【公共交通機関】
	交通の円滑化 【77件】	・国道20号の大社通り交差点は混雑するため、<u>通過しない</u>。【製造業・物流業】 ・バイパスは必要だと考えられ、<u>早期に全線開通してほしい</u>。【製造業・物流業】 ・<u>JR線も高架化にならないため</u>、国道はいつも渋滞している。【観光業】 ・朝出発する観光客と通勤する市民の車が利用する道路が重複し、混雑している。【観光業】 ・<u>踏切もできるだけ避けて通行している</u>。【消防・医療機関】 ・国道20号線の道が狭く、<u>バス停の切込みがないため</u>、バスが止まるごとに渋滞が起きる。【公共交通機関】
	交通安全の確保 【5件】	・国道20号は交通量が多く、事故も多い。特に、諏訪市内の混雑がひどい。【製造業・物流業】 ・上諏訪駅から、第三甲州街道踏切を超えると<u>歩道</u>がなくなる。【公共交通機関】
	地域産業の活性化 【11件】	・国道20号は諏訪地域の6市町村を結ぶ、くしの役割を担っており、<u>地域交流の観点からも重要</u>である。【製造業・物流業】 ・下諏訪町にある<u>外注先へのアクセス</u>がよくなればいい。【製造業・物流業】 ・<u>夏場は道路が動かず観光業界のツアーから外される</u>。【観光業】 ・観光客は、市内での混雑のために<u>市内を周遊しない</u>、という問題が生じている。【観光業】
	安心・快適な暮らしづくり 【2件】	・下諏訪町の街中は、<u>大型車が通過し、騒音や振動の問題</u>があり、道路も灰で汚れていたが、<u>下諏訪岡谷バイパスの開通により</u>、大型車が街中に入らず国道142号へ流れるため、街中の環境が大幅に改善された。【観光業】 ・諏訪市内の国道20号と（市）湖周線は、上下線が混雑するため、<u>救急時に対向車線を走ることができない</u>。【消防・医療機関】

※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1～10件→2件掲載、意見数11～20件→4件掲載、意見数21件～→6件掲載。

2-4. 意見聴取の結果 観光客ヒアリング（地域課題等への意見）

30

- ◆ 観光客は、長野県外からが約8割、県外のうち、約6割が関東、約2割が中部。
- ◆ 観光客は、約6割が宿泊客で、約8割が2回以上諏訪地域への立寄り、移動手段は自家用車利用が約7割。
- ◆ 諏訪地域内の移動で感じられる点は、「道路が狭い」や「歩道が狭い」などの道路構造に関する評価が低い。



2-5. 意見聴取の結果 オープンハウス(地域課題等への意見)

31

- ◆ オープンハウス来訪者の主な意見として、パネルをみながら「渋滞」や「踏切」、「自然災害」などに関する具体的な内容について意見をいただいた。
- ◆ 今回の意見聴取については、PI手法や内容、スケジュールに関する質問があった。
- ◆ ルートに関する質問や早期の着工に関する意見をいただいた。

分類	オープンハウスにおける主な意見
計画の内容 【13件】	・今回の<u>雪</u>を考えるとバイパスがあったほうが良い。 ・現道拡幅では<u>踏切</u>部分の課題が解決にならないためバイパス整備が必要。 ・国道20号の諏訪は渋滞しているので<u>早く進めてほしい</u>。
地域の課題 【11件】	・<u>車社会</u>なので、道路は必要だと思う。 ・国道20号の<u>大社通り交差点</u>は渋滞している。 ・国道20号は<u>踏切</u>があり混んでいる。 ・現道は<u>狭くて怖い</u>。
地域の意見聴取 【12件】	・<u>関心を集める</u>には良いと思う。 ・<u>調査票</u>が、家に突然送られてきたので話を聞きに来た。

2-6. 意見聴取の結果（生活・自然環境等に関する意見）

32

- ◆ 地域の意見聴取では、今後の道路整備にあたって配慮すべき事項として、環境に関する意見が333件。
- ◆ 「大気質、騒音、地下水」などの生活環境、「動物、植物、生態系」などの自然環境、「景観」などに関する意見があり、道路整備にあたっては、生活・自然環境などに配慮。

■第1回地域の意見聴取結果

【質問⑦】 今後の道路整備にあたって配慮すべき事項があればお聞かせ下さい。【自由回答】

【質問⑨】 その他ご意見がありましたらお聞かせ下さい。【自由回答】

分類	配慮すべき事項に関する主な意見
生活環境 【106件】	・現在の<u>居住環境</u>に変化をきたさないこと。 ・<u>排気ガス対策</u>など【環境対策】を十分に考慮してほしい。 ・<u>騒音対策</u>をしっかりとってほしい。 ・大事なものは<u>水源</u>等自然環境を守ること。 ・<u>地下水</u>の保全→（現在湧出ている地下水保全）。等
自然環境 【73件】	・裏山に生息している<u>動物、植物</u>の自然を破壊しない。 ・<u>野生動物</u>等への配慮、<u>動植物</u>への配慮。 ・<u>オオワシ</u>のグルの生息地がある。等 ・<u>自然環境・生態系</u>への影響の少ない設計・工期・工法を配慮。等
その他 【154件】	・周辺の<u>景観</u>にマッチした道路整備（特に<u>諏訪湖の景観</u>）。 ・<u>自然や伝統</u>を残しつつ全体の<u>景観</u>を損わないような地域。 ・<u>諏訪湖</u>を眼下に<u>楽しめる空間</u>の併設。 ・工事中、土しゃの搬出による環境問題。 ・暮らしやすい環境作りをお願い致します。 ・環境性の高い道路。等

※ 質問⑦及び質問⑨の全自由意見の全コメント数：10,213件

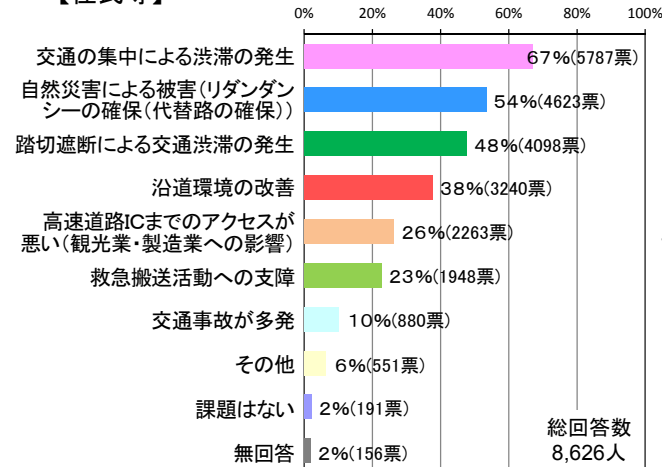
2-7. 第1回意見聴取の結果のまとめ

33

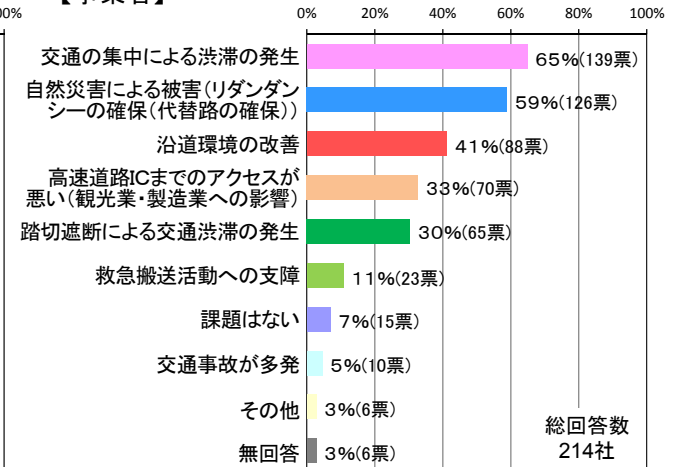
地域が感じている国道20号の課題

- 自然災害による被害
⇒【政策目標】災害に強い代替路の確保
- リダンダンシーの確保(代替路の確保)
⇒【政策目標】災害に強い代替路の確保
- 交通の集中による渋滞の発生
⇒【政策目標】交通の円滑化
- 踏切遮断による交通渋滞の発生
⇒【政策目標】交通の円滑化
- 交通事故が多発
⇒【政策目標】交通安全の確保
- 高速道路ICまでのアクセスが悪い(観光業・製造業への影響)
⇒【政策目標】地域産業の活性化
- 救急搬送活動への支障
⇒【政策目標】安心・快適な暮らしづくり
- 沿道環境の改善
⇒【政策目標】安心・快適な暮らしづくり

【住民等】



【事業者】



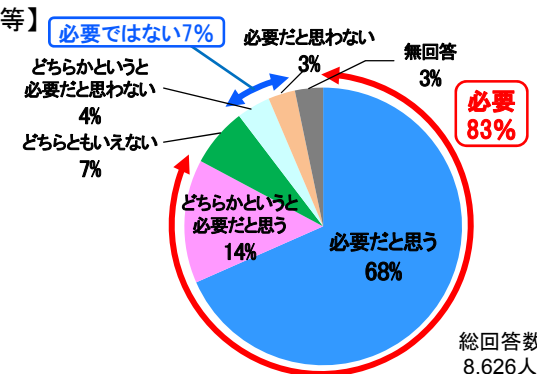
地域が感じている道路整備の必要性

■ 道路整備の必要性に関する意見

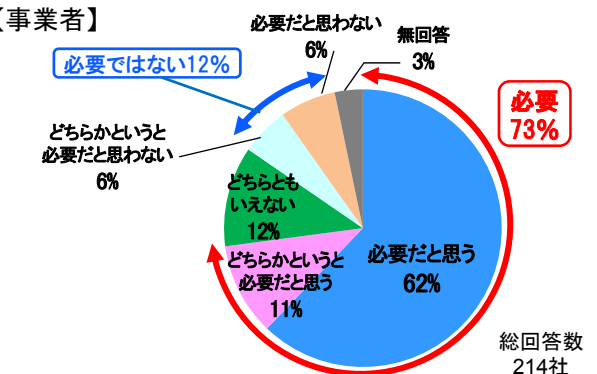
- ・住民の約8割、事業者の約7割が「道路整備が必要」と回答。
- ・国道20号の利用頻度が高いほど、「道路整備の必要」と回答する割合が高い。

住民や事業者など、回答いただいた道路利用者の多くが道路整備の必要性を認識

【住民等】



【事業者】



まとめ

- ・第1回地域の意見聴取で提示した政策目標は、地域が感じている国道20号の主な課題を網羅。
- ・回答いただいた道路利用者の多くが、道路整備の必要性を感じている。

必要とされる道路整備に向けて、「諏訪地域の政策目標を達成するための機能」を有するルートを検討

3. 対応方針(ルート帯案)について

3-1. 対応方針(ルート帯案)の考え方

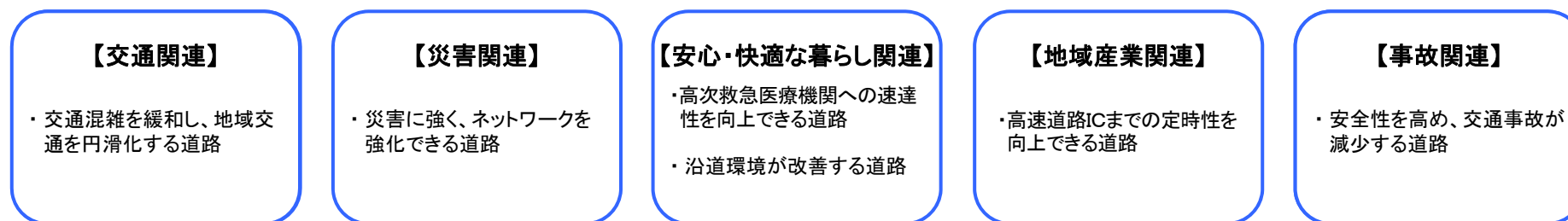
35

◆ 当該地域の課題を解決するための対応方針を検討。

◇ 諏訪地域の課題を早期に解決する政策目標を設定



◇ 対策案の検討



当該地域に求められるサービスとは

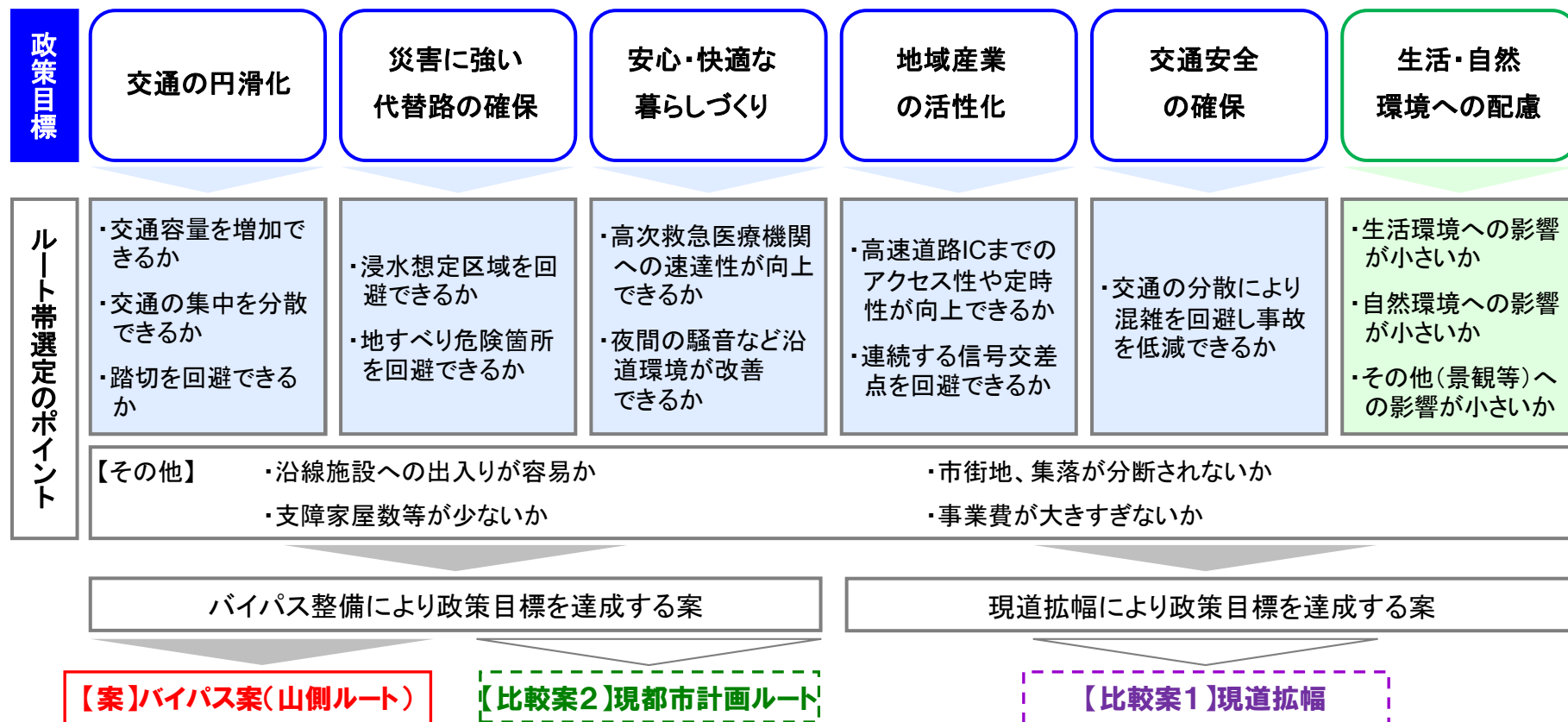
- ・ 交通混雑を緩和し、交通の円滑化
- ・ 災害に強い道路ネットワークの強化
- ・ 高次救急医療機関への速達性向上、夜間騒音の改善
- ・ 高速道路ICまでの定時性の向上
- ・ 交通事故の減少

諏訪地域の課題を解決し、地域の将来像を実現するルート帯案を設定

3-1. 対応方針(ルート帯案)の考え方

36

- ◆第1回意見聴取で地域の課題、政策目標などについて確認したことから、コントロールポイントなどを踏まえて、ルート帯案を設定する。
- ◆設定したルート帯案が各政策目標にどのように資するのかなどを整理し、第2回意見聴取で地域がより重視する政策目標を設定することで、地域のニーズを十分に踏まえたものであるかを確認する。



◇ルート帯案

【案】バイパス案(山側ルート)・・・諏訪市～下諏訪町間を現都市計画ルートより、バイパスを山側に通す案

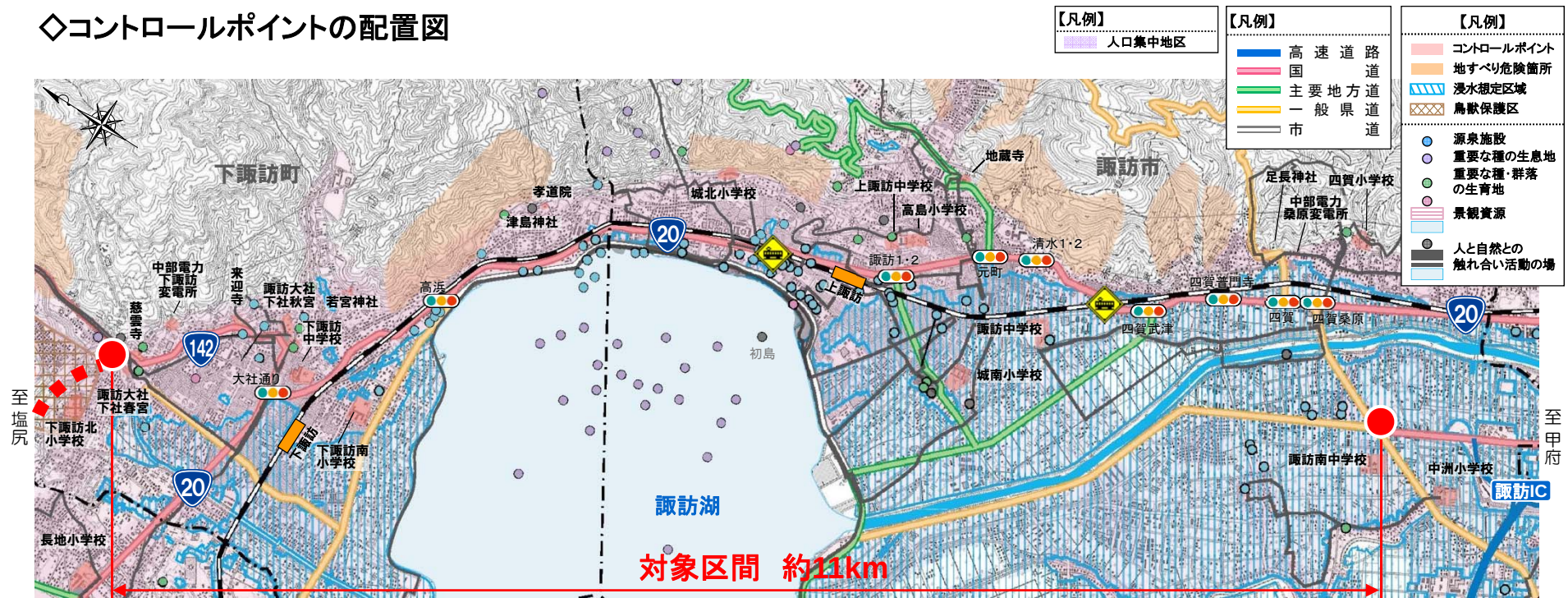
注)比較案:ルート帯案を設定するにあたって比較検討した案

3-2. コントロールポイントの考え方

37

◆ コントロールポイントとして、学校や神社仏閣などの社会的状況、自然的状況などに配慮する。

◇コントロールポイントの配置図



参考文献:

「長野県鳥獣保護区等位置図」(平成24年度 長野県林務部森林づくり推進課)、「第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 長野県」(昭和56年 環境庁)、「支部報「いわずめ」No.96(2004年5-6月号)」(平成16年 日本野鳥の会諏訪支部)、「ふるさといきもの里100選」(平成元年 環境庁自然保護局)、「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 長野県」(平成元年 環境庁)、「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成12年 環境庁)、「信州の文化財」(平成24年9月 財団法人八十二文化財団)、「第4回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 長野県」(平成7年 環境庁)、「自然公園等指定状況一覧」(平成19年4月 長野県自然環境保護課)、「日本の重要湿地500」(平成24年9月 環境省 インターネット自然研究所)、「日本の都市公園100選」(平成元年 日本公園緑地協会)、「新日本夜景100選」(平成16年 新日本三大夜景・夜景100選事務局)、「日本の渚・百選」(平成8年 国土交通省)、「温泉源泉の名称及び住所の一覧」(平成25年10月 諏訪保健福祉事務所 食品・生活衛生課生活衛生係)、「全国観光情報データベース」(平成25年10月 社団法人日本観光振興協会)、「各市町観光パンフレット」(平成25年10月 岡谷市・下諏訪町・諏訪市・茅野市)、「諏訪湖一周ジョギングロード」(平成24年9月 長野県健康福祉部健康長寿課)、「長野県統合型地理情報システム しんしゅうくらしのマップ」(長野県企画振興部情報政策課)、「浸水想定区域」(平成24年度 国土数値情報)

◇コントロールポイントの概要

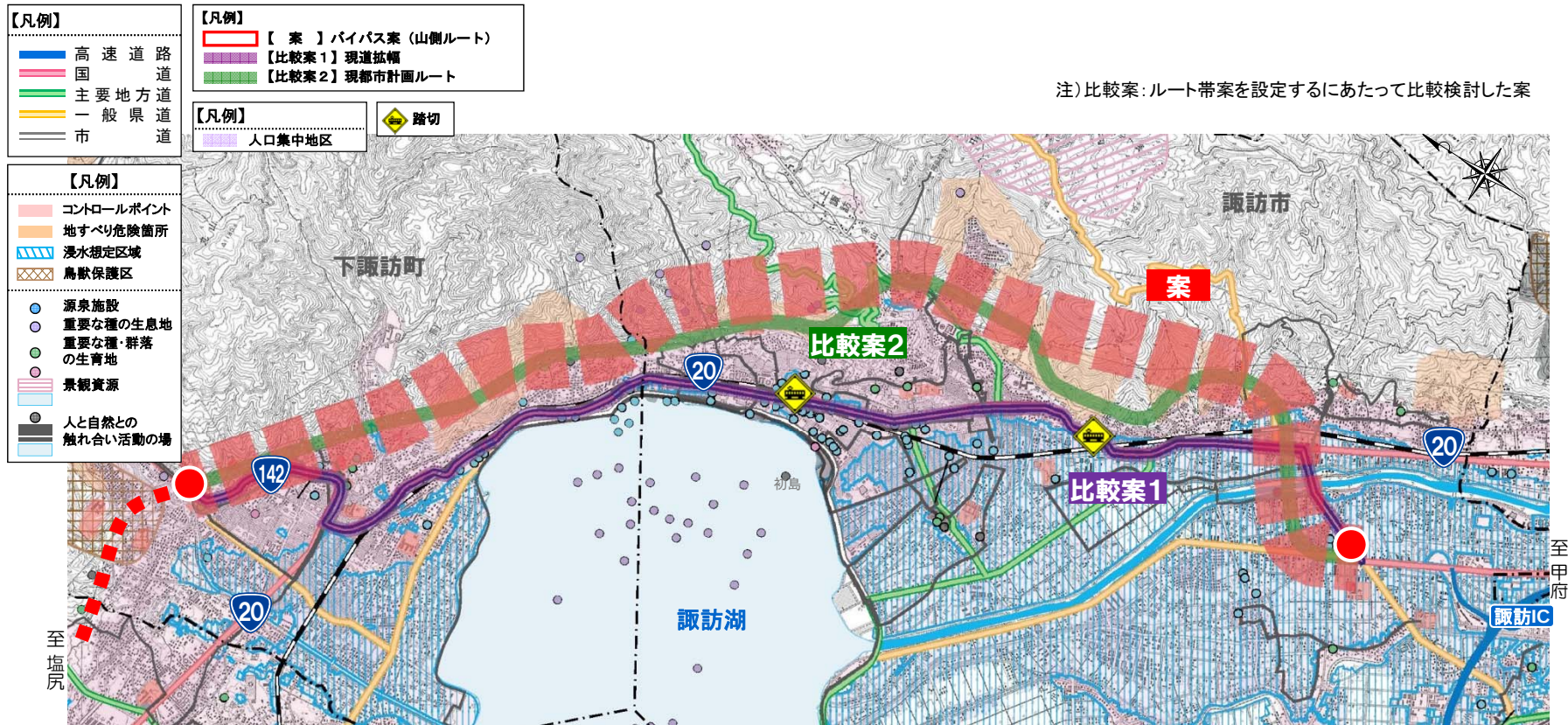
配慮すべき事項	社会的状況による要因	◆学校(小学校、中学校) ◆主要施設(変電所) ◆神社仏閣(山之神社、諏訪大社、慈雲寺など)
	自然的状況による要因	◆重要な種の生息地 ◆重要な種・群落の生育地 ◆景観資源 ◆人と自然との触れ合い活動の場
	法令(土砂災害防止法)等による要因	◆地すべり危険箇所

3-3. ルート帯案の概要

38

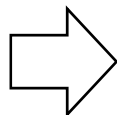
◇ルート帯案

【案】バイパス案(山側ルート)・・・諏訪市～下諏訪町間を現都市計画ルートより、バイパスを山側に通す案



【特徴】

【案】バイパス案
(山側ルート)



- ⇒ 浸水対策はバイパスにより高台に回避。土砂災害の危険性は山側に回避。新たな代替路を確保。
- ⇒ バイパスに交通が転換することにより、国道20号の交通混雑が解消。
- ⇒ 生活・自然環境への配慮については、影響を与える可能性は小さい。
- ⇒ 一部市街地や集落を山側に回避することで、地域分断は、ほぼ生じない。
- ⇒ 影響する家屋が約210棟あり。

参考文献:

「長野県鳥獣保護区等位置図」(平成24年度 長野県林務部森林づくり推進課)、「第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 長野県」(昭和56年 環境庁)、「支部報「いわすずめ」No.96(2004年5-6月号)」(平成16年 日本野鳥の会諏訪支部)、「ふるさといきものの里100選」(平成元年 環境庁自然保護局)、「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 長野県」(平成元年 環境庁)、「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成12年 環境庁)、「信州の文化財」(平成24年9月 財団法人八十二文化財団)、「第4回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 長野県」(平成7年 環境庁)、「自然公園等指定状況一覧」(平成19年4月 長野県自然環境保護課)、「日本の重要湿地500」(平成24年9月 環境省 インターネット自然研究所)、「日本の都市公園100選」(平成元年 日本公園緑地協会)、「新日本夜景100選」(平成16年 新日本三大夜景・夜景100選事務局)、「日本の渚・百選」(平成8年 国土交通省)、「温泉源泉の名称及び住所の一覧」(平成25年10月 諏訪保健福祉事務所 食品・生活衛生課生活衛生係)、「全国観光情報データベース」(平成25年10月 社団法人日本観光振興協会)、「各市町観光パンフレット」(平成25年10月 岡谷市・下諏訪町・諏訪市・茅野市)、「諏訪湖一周ジョギングロード」(平成24年9月 長野県健康福祉部健康長寿課)、「長野県統合型地理情報システム しんしゅうくらしのマップ」(長野県企画振興部情報政策課)、「浸水想定区域」(平成24年度 国土数値情報)

3-3. ルート帯案の概要

39

		【案】バイパス案(山側ルート)	【比較案1】現道拡幅	【比較案2】現都市計画ルート
ルート概要		現都市計画ルートより、バイパスを山側に通す案	現道2車線を拡幅(車線数増加)	現都市計画ルートを基にバイパス整備
整備イメージ				
政策目標	災害に強い代替路の確保 (浸水被害、土砂災害)	・浸水対策はバイパスにより高台に回避。 ・土砂災害の危険性は山側に回避することで、【比較案2】よりも効果大きい。 ・新たな代替路を確保。	・浸水対策は、路面の嵩上げにより対応するものの、効果は【バイパス案】より小さい。 ・土砂災害の危険性は現道拡幅のため、現状と同じ。	・浸水対策はバイパスにより高台に回避。 ・土砂災害の危険性は一部山側に回避。 ・新たな代替路を確保。
	交通の円滑化 (渋滞、踏切)	・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の交通混雑が解消。	・交通容量(車線数)を確保し、現道の交通混雑を緩和、踏切は立体交差するものの、効果は【バイパス案】より小さい。	・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の交通混雑が解消。
	交通安全の確保	・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の交通事故が減少。	・安全施設の設置により、交通事故が減少するものの、効果は【バイパス案】より小さい。	・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の交通事故が減少。
	地域産業の活性化	・国道20号の連続する信号交差点や踏切を回避し、高速ICまでのアクセス性や定時性が向上。	・国道20号の連続する信号交差点を通過するため、高速ICまでのアクセス性や定時性はあまり向上しない。	・国道20号の連続する信号交差点や踏切を回避し、高速ICまでのアクセス性や定時性が向上。
	安心・快適な暮らしづくり (医療、騒音)	・高次救急医療機関への速達性が向上。 ・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の沿道環境が改善。	・車線数増加により、救急車両優先の車線を確保でき、高次救急医療機関への速達性が向上。 ・市街地を通過するため、国道20号の沿道環境の改善は見込まれない。	・高次救急医療機関への速達性が向上。 ・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の沿道環境が改善。
環境への影響	生活環境※	・大気環境は、集落・市街地等を概ね回避しており、影響を与える可能性が【比較案1】より小さい。 ・水環境は、源泉施設を概ね回避しているが、ルートの位置・構造によっては、影響を与える可能性あり。	・大気環境は、集落・市街地等を通過しており、影響を与える可能性あり。 ・水環境は、源泉施設を回避しているが、ルートの位置・構造によっては、影響を与える可能性あり。	・大気環境は、集落・市街地等を概ね回避しており、影響を与える可能性が【比較案1】より小さい。 ・水環境は、源泉施設を概ね回避しているが、ルートの位置・構造によっては、影響を与える可能性あり。
	自然環境※	・動物、植物、生態系は、重要な種・群落の生息地・生育地等を概ね回避しており、影響を与える可能性小。	・動物、植物、生態系は、重要な種・群落の生息地・生育地等を回避しており、影響を与える可能性小。	・動物、植物、生態系は、重要な種・群落の生息地・生育地等を概ね回避しており、影響を与える可能性小。
	その他	・景観は、景観資源を概ね回避しており、影響を与える可能性小。 ・人と自然との触れ合い活動の場は、活動の場を概ね回避しており、影響を与える可能性小。	・景観は、景観資源を回避しており、影響を与える可能性小。 ・人と自然との触れ合い活動の場は、活動の場を通過しており、影響を与える可能性あり。	・景観は、景観資源を概ね回避しており、影響を与える可能性小。 ・人と自然との触れ合い活動の場は、活動の場を概ね回避しており、影響を与える可能性小。
その他	沿道施設への出入り	・沿道施設への出入りは想定していない。	・浸水対策による嵩上げにより、沿道施設への出入りは困難。	・沿道施設への出入りは想定していない。
	地域分断	・一部市街地や集落を山側に回避することで、地域分断は、ほぼ生じない。	・車線数が増加し、沿道出入りや横断が困難となり、地域分断が生じる。	・一部市街地や集落を通過するため、【バイパス案】より地域分断が生じる。
	影響する家屋数等	約210棟 (宅地面積:約4万m2【比較案1】の約1/4)	約930棟 (宅地面積:約19万m2)	約320棟 (宅地面積:約6万m2)
	事業費	約700～740億円	約760～800億円	約810～850億円

※自動車の走行や道路の存在に伴い影響を及ぼす可能性のある事項を整理。

注)比較案:ルート帯案を設定するにあたって比較検討した案

4. 地域の意見聴取(第2回)の方法について

- ◆ 2回目の意見聴取の内容は、第1回意見聴取の結果の妥当性を確認するための質問のほか、ルート帯案が地域のニーズを十分に踏まえたものであるかを確認するための地域がより重視する政策目標に関する質問を設定。

1. 地域の意見聴取(2回目)の内容

意見聴取事項	意見聴取の内容	回答方法
① 第1回意見聴取の結果の妥当性	第1回地域の意見聴取の結果は妥当か	選択式(1つ)
	結果が妥当だと思わない理由は	自由回答
② ルート帯案を選択する際に重視すべき政策目標	ルート帯を選択する際に重視すべき項目は	選択式(5段階評価)
③ 検討にあたって配慮すべき事項等	具体的にルートを検討する際に配慮すべき事項はあるか	自由回答

4-2. 意見聴取の対象者と方法

42

■意見聴取の対象

調査票形式		
住民等	沿線住民 (諏訪市、下諏訪町への全戸配布)	28,965世帯
	周辺住民 (岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村の住民)	市町村役場 (留置き)
	一般市民 (広く一般の人々)	Web
事業者	製造業 物流業 (諏訪市・下諏訪町の商工会議所) (長野県トラック協会(諏訪地区))	会員企業へ配布(599社)
	観光業 宿泊業 (諏訪市・下諏訪町の観光協会)	

※世帯数は、長野県毎月人口移動調査結果(H26.6.1)

■意見聴取の周知方法

情報提供の項目
諏訪地域の各市町村のホームページに地域の意見聴取(Web)のバナーを設置
新聞広告、チラシ、長野国道事務所ホームページ等で幅広く広報を実施
オープンハウスによる地域住民への情報提供と意見聴取

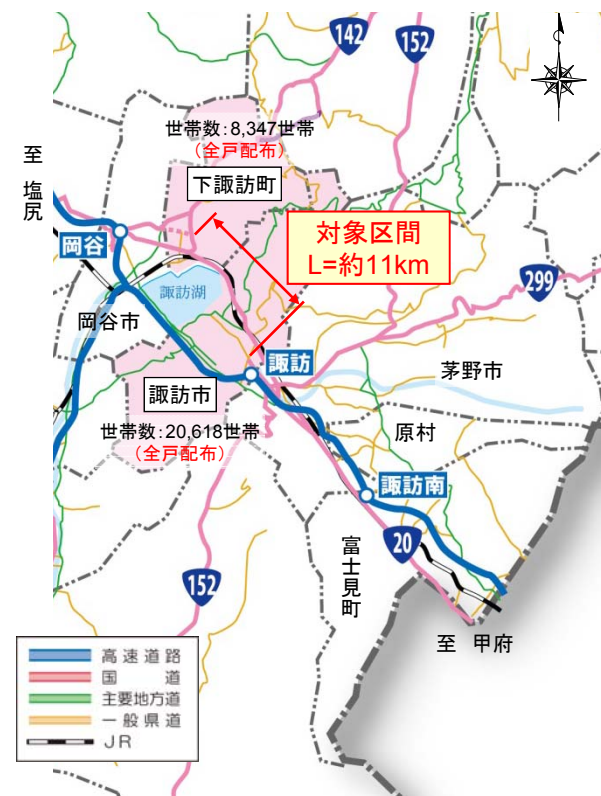
■意見聴取の期間

◇1ヶ月程度

■実施主体

◇国土交通省 長野国道事務所

■調査票形式(沿線住民)の配布範囲



※世帯数は、長野県毎月人口移動調査結果(H26.6.1)

①調査概要

皆さまの声で
諏訪地域の未来を支える
みちづくりを進めます。

一般国道20号
(長野県諏訪市～下諏訪町間)

ニュースレター vol.2

現在、計画の検討を進めています

一般国道20号の長野県諏訪市西側から諏訪郡下諏訪町東町までの、対象区間(約11km)の計画の検討を進めています。

前後の区間では、茅野市側に「諏訪IC関連」や「坂室バイパス」、岡谷市側に「下諏訪岡谷バイパス」の整備が進められています。※1

※1 現在、暫定2車線で開通しています。
※2 本事業は、環境影響評価法(平成9年法律第81号)に基づく計画段階環境配慮書(配慮書)の対象事業となることがあり、この意見聴取は環境影響評価法に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続きを兼ねています。

対象区間 約11km

下諏訪岡谷バイパス

下諏訪町

岡谷市

茅野市

諏訪市

諏訪IC

下諏訪IC

坂室バイパス

岡谷JCT

凡例

事業中区間

供用区間(暫定2車線)

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局
長野国道事務所 計画課

〒380-0902 長野県長野市鶴賀字中辰145
電話：026-264-7009(直通)
ホームページ：http://www.ktr.mlit.go.jp/nagano/

②第1回地域の意見聴取について

(住民等／事業者)

第1回 地域の意見聴取について

【住民の皆さまへの意見聴取】

調査票形式

地域の意見聴取は、郵送・留置き・Webの3種類の方法で実施しました。

郵送では、諏訪市と下諏訪町のすべての世帯に配布しました。その他にも、市役所や役場への調査票の留置き、Webにより、様々な方から回答をいただきました。

配布方法	配布数	回収数	回収率
郵送配布	33,713部	8,142部	(24%)
留置き(郵送回収)	188部	188部	
Web	296部	296部	
合計	34,197部	8,626部	

※世帯数は、長野県毎月人口移動調査結果(2024.1.1)
※対象地域内に存在する全ての世帯へ配布した数とは異なる。

オープンハウス

諏訪市、下諏訪町の商業施設をお借りし、地域の皆さまと計画の内容について対話しました。

実施日時	場所	来場者
H26. 2. 9 (日)	スワポガ(諏訪市)	19人
H26. 2. 22 (土)	イオン諏訪店下諏訪町	53人
H26. 2. 23 (日)	イオン諏訪店下諏訪町	19人
H26. 3. 2 (日)	スワポガ(諏訪市)	13人
合計		104人

【諏訪地域の課題】

地域の課題について、住民の皆さまから意見を頂き、確認しました。

【課題を解決するための目標】

5つの政策目標について、住民の皆さまから意見を頂き、確認しました。

(自由意見)

- 災害の時、う回路となること、今回の大雨が参考になるよう考えて欲しい
- 国道に2か所も踏切横断があるところはここだけだと思います。バイパス等で踏切をさけるべきである。(ほか)

第1回 地域の意見聴取について

【事業者の皆さまへの意見聴取】

調査票形式

事業者の皆さまへの意見聴取は、平成26年2月に郵送配布・諏訪地域の事業者の皆さまへの直接訪問し、事業者様としての意見をお聞きしました。また、観光地では、観光客の方々に意見を直接お聞きしました。

ヒアリング

対象	配布数	回収数	回収率
諏訪市、下諏訪町の商工会 会員企業	449社	214社	(48%)
諏訪市、下諏訪町の観光協会 会員企業	135社	15社	(11%)
諏訪トラップ協同組合 組合企業	15社	15社	(100%)
合計	599社	244社	

対象	実施状況
製造業・物流業	8社
観光業	9社
消防・医療機関	2社
公共交通機関	4社
計	23社
観光客	315人

【諏訪地域の課題】

地域の課題について、事業者の皆さまから意見を頂き、確認しました。

【課題を解決するための目標】

5つの政策目標について、事業者の皆さまから意見を頂き、確認しました。

(自由意見)

- 道路整備時、交通渋滞等無いようにしていただきたい。
- 大雪、積雪に対応できる道路又は代替路確保。

まとめ 地域の課題や道路整備の必要性についてとりまとめました

・第1回地域の意見聴取で提示した政策目標は、地域が感じている国道20号の主な課題を網羅。

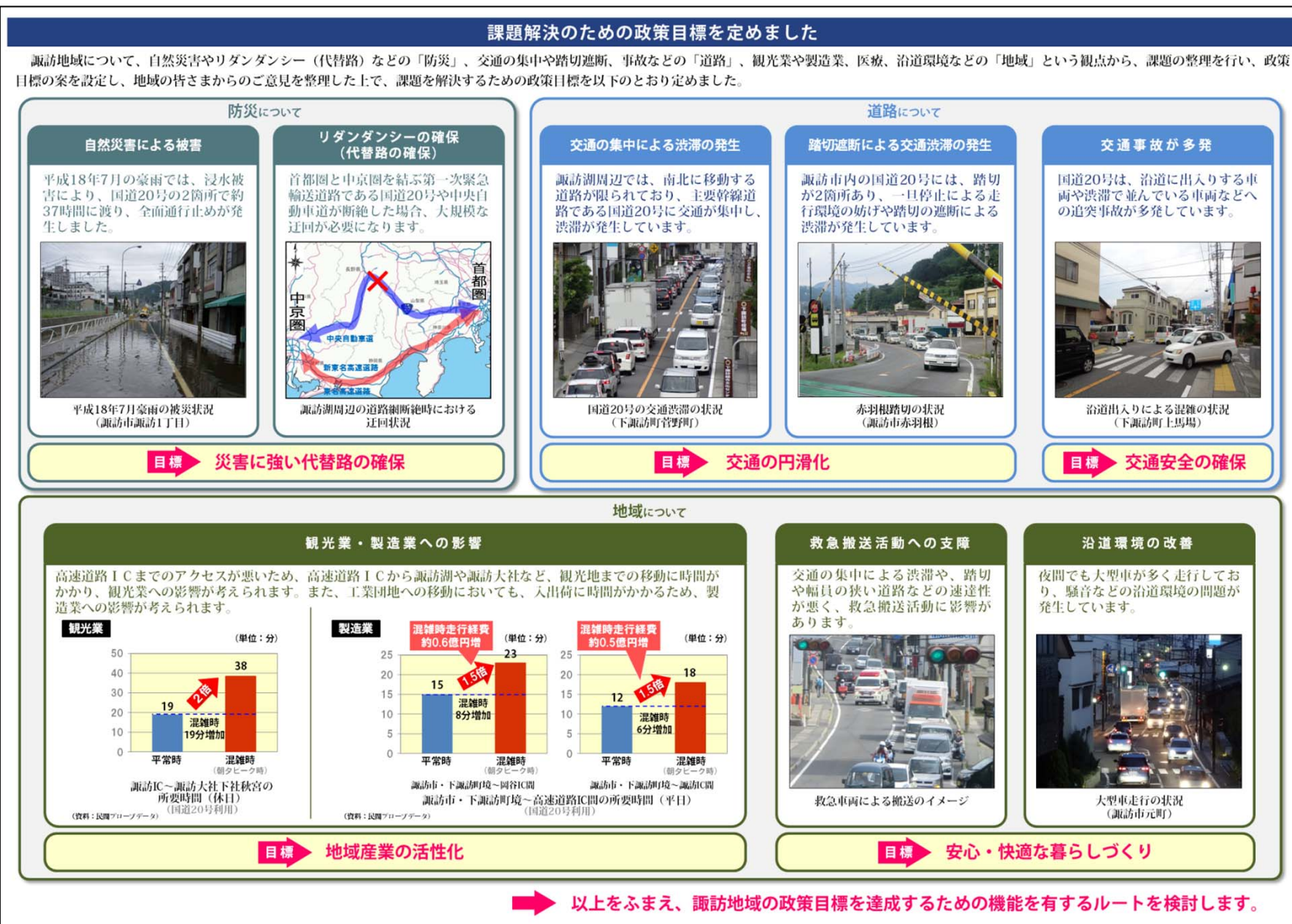
・道路利用者の多くが、道路整備の必要性を感じている。

《必要とされる道路整備》

諏訪地域の政策目標を達成するための、機能を有するルートを検討

第1回地域の意見聴取の結果についての詳細な内容は、一般国道20号(長野県諏訪市～下諏訪町間)のホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp/nagano/R20suwa/>)に掲載しております。

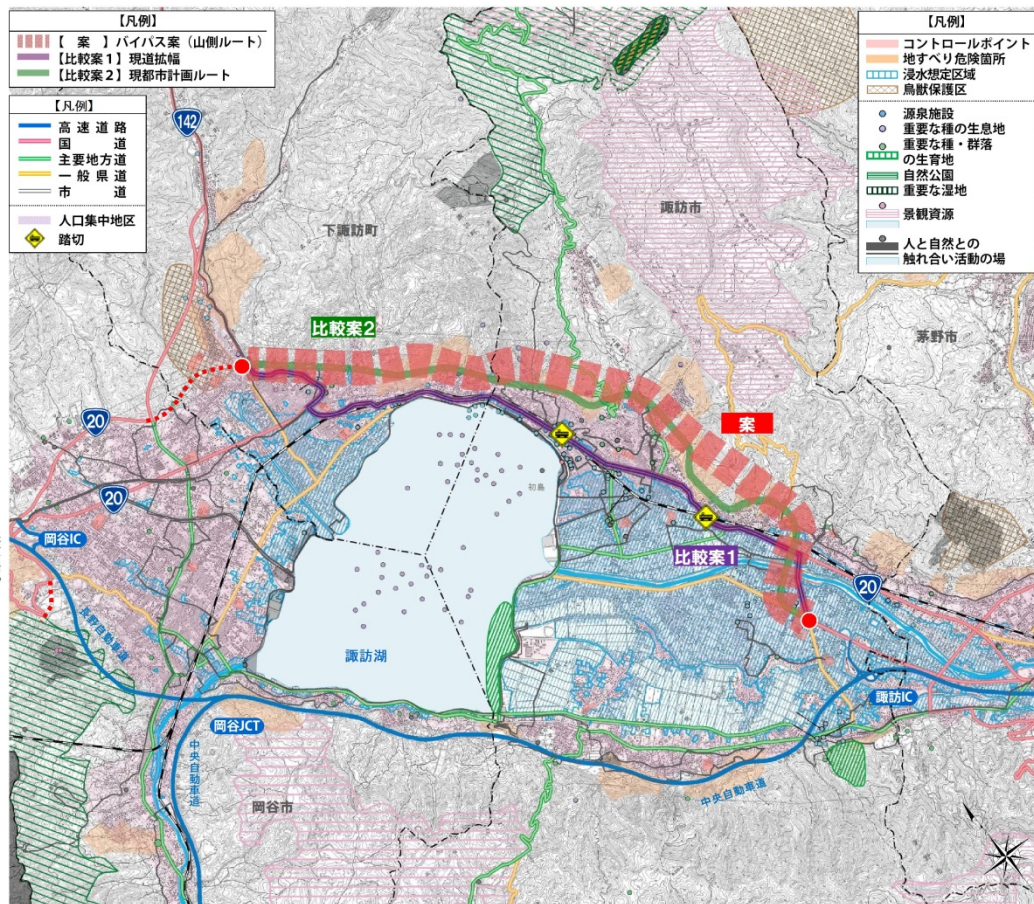
③一般国道20号(諏訪市～下諏訪町間)の課題と目標



④ルート帯(案)の概要

ルート帯の案を作成しました

諏訪地域における政策目標を達成するための機能を有する道路として、ルート帯の案(500m帯)を作成しました。また、「現道拡幅」「現都市計画ルート」についても、比較評価を行いました。



※原則として、別線道路の完成後、現在の国道20号は地方公共団体へ管理が引き継がれることを想定しています。

注)比較案:ルート帯の案を決定するにあたって比較検討した案

参考文献:「長野県統合型地理情報システム」(長野県企画部情報統括課)、「平成18年7月豪雨被害発生地域地図」(平成18年 長野県建設事務所)、「長野県自然保護区等位置図」(平成24年度 長野県林務部森林づくり推進課)、「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布図 長野県」(昭和56年 環境庁)、「支庁別「いむすめ」No.96 (2004年5月6日)」(平成16年 日本野鳥の会諏訪支部)、「ふるさといきもの里100選」(平成元年 環境庁自然保護局)、「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 長野県」(平成元年 環境庁)、「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成12年 環境庁)、「信州の文化財」(平成24年9月 財団法人八十二文化財財団)、「第4回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 長野県」(平成7年 環境庁)、「自然公園等指定状況一覧」(平成19年4月 長野県自然環境保護課)、「日本の重要湿地500」(平成24年9月 環境省 インターネット自然研究)、「日本の都市公団100選」(平成元年 日本公園緑地協会)、「新日本夜景100選」(平成16年 新日本三夜景・夜景100選事務局)、「日本の渚・百選」(平成8年 国土交通省)、「温泉源泉の名称及び住所の一覧」(平成25年10月 諏訪保健福祉事務所 食品・生活衛生課生活衛生係)、「全国観光情報データベース」(平成25年10月 社団法人日本観光振興協会)、「各市町観光パンフレット」(平成25年10月) 岡谷市・下諏訪町・諏訪市・茅野市・諏訪湖一周ドライブロード」(平成24年9月 長野県健康福祉部健康長寿課)、「長野県統合型地理情報システム しんしゅうくろしのマップ」(長野県企画部情報統括課)、「浸水想定区域」(平成24年度 国土数値情報)

比較案	【案】 バイパス案(山側ルート)	【比較案1】 現道拡幅	【比較案2】 現都市計画ルート
ルート概要	現都市計画ルートより、バイパスを山側に通す案	現道2車線を拡幅(車線数増加)	現都市計画ルートにバイパス整備
災害に強い代替路の確保 (浸水被害、土砂災害)	・浸水対策はバイパスにより高台に回避 ・土砂災害の危険性は山側に回避することで、【比較案2】よりも効果が大きい。 ・新たな代替路を確保。	・浸水対策は、路面の嵩上げにより対応するものの、効果は【バイパス案】より小さい。 ・土砂災害の危険性は現道拡幅のため、現状と同じ。	・浸水対策はバイパスにより高台に回避 ・土砂災害の危険性は一部山側に回避。 ・新たな代替路を確保。
交通の円滑化 (渋滞、踏切)	・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の交通渋滞が解消。	・交通容量(車線数)を確保し、現道の交通渋滞を緩和。踏切は立体交差するものの、効果は【バイパス案】より小さい。	・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の交通渋滞が解消。
交通安全の確保	・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の交通事故が減少。	・安全施設の設置により、交通事故が減少するものの、効果は【バイパス案】より小さい。	・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の交通事故が減少。
地域産業の活性化	・国道20号の連続する信号交差点や踏切を回避し、高速1Cまでのアクセス性や通し性が向上。	・国道20号の連続する信号交差点を通過するため、高速1Cまでのアクセス性や通し性はあまり向上しない。	・国道20号の連続する信号交差点や踏切を回避し、高速1Cまでのアクセス性や通し性が向上。
安心・快適な暮らしづくり (医療、教育)	・高次救急医療機関への到達性が向上。 ・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の沿道環境が改善。	・車線数増加により、救急車両優先の車線を確保でき、高次救急医療機関への到達性が向上。 ・市街地を通過するため、国道20号の沿道環境の改善は見込めない。	・高次救急医療機関への到達性が向上。 ・バイパスに交通が転換することにより、国道20号の沿道環境が改善。
生活環境	・大気環境は、集落・市街地等を概ね回避しており、影響を与える可能性が【比較案1】より小さい。 ・水環境は、源泉施設を概ね回避しているが、ルート上の位置・構造によっては、影響を与える可能性あり。	・大気環境は、集落・市街地等を通過しており、影響を与える可能性が【比較案1】より小さい。 ・水環境は、源泉施設を概ね回避しているが、ルート上の位置・構造によっては、影響を与える可能性あり。	・大気環境は、集落・市街地等を概ね回避しており、影響を与える可能性が【比較案1】より小さい。 ・水環境は、源泉施設を概ね回避しているが、ルート上の位置・構造によっては、影響を与える可能性あり。
自然環境	・動物、植物、生態系は、重要な種・群落の生息地・生育地等を概ね回避しており、影響を与える可能性小。 ・景観は、景観資源を概ね回避しており、影響を与える可能性小。 ・人と自然との触れ合い活動の場は、活動の場を概ね回避しており、影響を与える可能性小。	・動物、植物、生態系は、重要な種・群落の生息地・生育地等を概ね回避しており、影響を与える可能性小。 ・景観は、景観資源を概ね回避しており、影響を与える可能性小。 ・人と自然との触れ合い活動の場は、活動の場を概ね回避しており、影響を与える可能性小。	・動物、植物、生態系は、重要な種・群落の生息地・生育地等を概ね回避しており、影響を与える可能性小。 ・景観は、景観資源を概ね回避しており、影響を与える可能性小。 ・人と自然との触れ合い活動の場は、活動の場を概ね回避しており、影響を与える可能性小。
その他	・沿道施設への出入りは想定していない。	・浸水対策による嵩上げにより、沿道施設への出入りは困難。	・沿道施設への出入りは想定していない。
地域分析	・一部市街地や集落を山側に回避することで、地域分断は、ほぼ生じない。	・車線数が増加し、沿道出入りや横断が困難となり、地域分断が生じる。	・一部市街地や集落を通過するため、【バイパス案】より地域分断が生じる。
影響する家屋数等	約210棟 (宅地面積:約4万m ² 【比較案1】の約1/4)	約930棟 (宅地面積:約19万m ²)	約320棟 (宅地面積:約6万m ²)
事業費	約700~740億円	約760~800億円	約810~850億円

※自転車の走行や道路の存在に伴い影響を及ぼす可能性のある事項を整理。

4-3. 意見聴取資料案

46

⑤質問票(住民・留置き)

質問票																		
ニューズレター vol.2をご覧ください、以下の質問について、皆さまのご意見を回答用の郵便はがきに記入してください。ご協力よろしくお願いいたします。																		
問1 国道20号の利用頻度について ふだん、諏訪地域内の国道20号をどの程度利用していますか？(単一回答) <table border="1"> <tr><td>1 ほぼ毎日(週4~7回)</td></tr> <tr><td>2 週に数回程度(週2~3回)</td></tr> <tr><td>3 月に数回程度(週1回未満)</td></tr> <tr><td>4 ほとんど利用しない</td></tr> <tr><td>5 利用したことがない</td></tr> </table> 問4へ	1 ほぼ毎日(週4~7回)	2 週に数回程度(週2~3回)	3 月に数回程度(週1回未満)	4 ほとんど利用しない	5 利用したことがない	問6 重視すべき項目について 地域にとって望ましいルート帯案を検討する際にどのような項目を重視すべきと思われますか？(それぞれの項目について1つ選択してください) <table border="1"> <tr> <td>1. 特に重視すべき</td> <td>2. やや重視すべき</td> </tr> <tr> <td>3. あまり重視すべきでない</td> <td>4. 重視する必要なし</td> </tr> <tr> <td>5. わからない</td> <td></td> </tr> </table>	1. 特に重視すべき	2. やや重視すべき	3. あまり重視すべきでない	4. 重視する必要なし	5. わからない							
1 ほぼ毎日(週4~7回)																		
2 週に数回程度(週2~3回)																		
3 月に数回程度(週1回未満)																		
4 ほとんど利用しない																		
5 利用したことがない																		
1. 特に重視すべき	2. やや重視すべき																	
3. あまり重視すべきでない	4. 重視する必要なし																	
5. わからない																		
問2 国道20号の移動手段について 諏訪地域内の国道20号を通行する際に、主な移動手段は何ですか？(単一回答) <table border="1"> <tr><td>1 自動車</td></tr> <tr><td>2 公共交通(バス、タクシー)</td></tr> <tr><td>3 バイク</td></tr> <tr><td>4 自転車</td></tr> <tr><td>5 徒歩</td></tr> </table>	1 自動車	2 公共交通(バス、タクシー)	3 バイク	4 自転車	5 徒歩	<table border="1"> <tr><td>① 自然災害箇所(浸水区域や地すべり箇所)を回避し、災害に強い代替路を確保する道路</td></tr> <tr><td>② 交通混雑を緩和し、円滑化を図る道路</td></tr> <tr><td>③ 交通事故が少なく、交通安全に寄与する道路</td></tr> <tr><td>④ 高速道路ICから観光地や工業団地等にアクセスしやすく、地域産業の活性化に寄与する道路</td></tr> <tr><td>⑤ 救急病院に早く行ける道路</td></tr> <tr><td>⑥ 生活環境(大気環境・水環境)に配慮し、できる限り影響を回避した道路</td></tr> <tr><td>⑦ 自然環境(動物・植物・生態系)に配慮し、できる限り影響を回避した道路</td></tr> <tr><td>⑧ 景観や人と自然との触れ合い活動の場に配慮し、できる限り影響を回避した道路</td></tr> <tr><td>⑨ 沿道施設へ出入りしやすい道路</td></tr> <tr><td>⑩ 地域分断や支障家屋が少ない道路</td></tr> <tr><td>⑪ 事業費が経済的な道路</td></tr> <tr><td>⑫ その他[※具体的な内容を記入してください]</td></tr> </table>	① 自然災害箇所(浸水区域や地すべり箇所)を回避し、災害に強い代替路を確保する道路	② 交通混雑を緩和し、円滑化を図る道路	③ 交通事故が少なく、交通安全に寄与する道路	④ 高速道路ICから観光地や工業団地等にアクセスしやすく、地域産業の活性化に寄与する道路	⑤ 救急病院に早く行ける道路	⑥ 生活環境(大気環境・水環境)に配慮し、できる限り影響を回避した道路	⑦ 自然環境(動物・植物・生態系)に配慮し、できる限り影響を回避した道路	⑧ 景観や人と自然との触れ合い活動の場に配慮し、できる限り影響を回避した道路	⑨ 沿道施設へ出入りしやすい道路	⑩ 地域分断や支障家屋が少ない道路	⑪ 事業費が経済的な道路	⑫ その他[※具体的な内容を記入してください]
1 自動車																		
2 公共交通(バス、タクシー)																		
3 バイク																		
4 自転車																		
5 徒歩																		
① 自然災害箇所(浸水区域や地すべり箇所)を回避し、災害に強い代替路を確保する道路																		
② 交通混雑を緩和し、円滑化を図る道路																		
③ 交通事故が少なく、交通安全に寄与する道路																		
④ 高速道路ICから観光地や工業団地等にアクセスしやすく、地域産業の活性化に寄与する道路																		
⑤ 救急病院に早く行ける道路																		
⑥ 生活環境(大気環境・水環境)に配慮し、できる限り影響を回避した道路																		
⑦ 自然環境(動物・植物・生態系)に配慮し、できる限り影響を回避した道路																		
⑧ 景観や人と自然との触れ合い活動の場に配慮し、できる限り影響を回避した道路																		
⑨ 沿道施設へ出入りしやすい道路																		
⑩ 地域分断や支障家屋が少ない道路																		
⑪ 事業費が経済的な道路																		
⑫ その他[※具体的な内容を記入してください]																		
問3 国道20号の利用目的について 諏訪地域内の国道20号を通行する際に、最も多い目的は何ですか？(単一回答) <table border="1"> <tr><td>1 通勤・通学</td></tr> <tr><td>2 仕事(営業・運送など)</td></tr> <tr><td>3 日常的な買い物・食事など</td></tr> <tr><td>4 その他[※具体的な内容を記入してください]</td></tr> </table>	1 通勤・通学	2 仕事(営業・運送など)	3 日常的な買い物・食事など	4 その他[※具体的な内容を記入してください]														
1 通勤・通学																		
2 仕事(営業・運送など)																		
3 日常的な買い物・食事など																		
4 その他[※具体的な内容を記入してください]																		
問4 第1回地域の意見聴取の結果について 第1回地域の意見聴取(H26.2~H26.3)の結果について、妥当だと思いますか？(単一回答) <table border="1"> <tr><td>1 妥当だと思う</td></tr> <tr><td>2 どちらかと言うと妥当だと思う</td></tr> <tr><td>3 どちらとも言えない</td></tr> <tr><td>4 どちらかと言うと妥当だと思わない</td></tr> <tr><td>5 妥当だと思わない</td></tr> </table> 問6へ	1 妥当だと思う	2 どちらかと言うと妥当だと思う	3 どちらとも言えない	4 どちらかと言うと妥当だと思わない	5 妥当だと思わない													
1 妥当だと思う																		
2 どちらかと言うと妥当だと思う																		
3 どちらとも言えない																		
4 どちらかと言うと妥当だと思わない																		
5 妥当だと思わない																		
問5 結果が妥当だと思わない理由について 妥当だと思わない理由についてお答えください。(自由回答)																		
同封のはがき以外の回答方法	インターネットによる回答も可能となっておりますので、下記アドレスからアクセス願います。 http://www.R20suwa.com/ はがきで回答をされる場合には、お手数ですが、最寄りの市役所や町村役場に配票しておりますので、同様に回答してください。																	

⑥回答用の郵便はがき(住民・留置き)

(表面)		(裏面)	
郵便はがき 380-8790 194 長野県長野市鶴賀字中堰145 国土交通省長野国道事務所 計画課 行		皆さまのご意見をお聞かせください。 問1 国道20号の利用頻度について(単一回答) 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ → 問4へ 問2 国道20号の移動手段について(単一回答) 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 問3 国道20号の利用目的について(単一回答) 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ → 問4へ 問4 第1回地域の意見聴取の結果について(単一回答) 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ → 問6へ 問5 結果が妥当だと思わない理由について 結果が妥当だと思わない理由について 問6 重視すべき項目について(①~⑫はそれぞれの項目について1つ選択) 1 特に重視すべき ☐ 2 やや重視すべき ☐ 3 あまり重視すべきでない ☐ 4 重視する必要なし ☐ 5 わからない ☐ 問7 配慮すべき事項について 1 災害に強い ☐ 2 交通混雑を緩和 ☐ 3 交通安全 ☐ 4 交通事故が少なく ☐ 5 救急病院 ☐ 6 生活環境 ☐ 7 自然環境 ☐ 8 景観等 ☐ 9 沿道施設 ☐ 10 地域分断 ☐ 11 事業費 ☐ 12 増補・上記以外 問8 その他について	
長野県長野市鶴賀字中堰145 国土交通省長野国道事務所 計画課 行		ご協力ありがとうございました。	

⑦質問票(事業者)

諏訪地域の道路の利用状況と道路整備に関する地域の意見聴取（製造業）

問1 貴事業所の業種について、お聞かせください。（あてはまる業種の番号に○印をつけてください）

1 食料品	7 印刷・同関連	13 窯業・土石製品	19 業務用機械器具
2 飲料・たばこ・飼料	8 化学工業	14 鉄鋼業	20 電子部品・デバイス
3 繊維工業	9 石油製品・石炭製品	15 非鉄金属	21 電気機械器具
4 木材・木製品	10 プラスチック製品	16 金属	22 情報通信機械器具
5 家具・装飾品	11 ゴム製品	17 はん用機械器具	23 輸送用機械器具
6 パルプ・紙・紙加工品	12 なめし革・同製品・毛皮	18 生産用機械器具	24 その他：

問2 貴事業所の主な取扱製品について、お聞かせください。

（取扱製品が多い場合には、貴事業者の取扱量の多い主要3製品を記載してください。）

主な製品名	①	②	③
-------	---	---	---

問3 貴事業所が製品を入荷・出荷する主な方面について、上位2つをそれぞれお聞かせください。

（方面について、もっとも多いものに「1」、次に多いものに「2」を、入荷時と出荷時の両方に記入）

	長野県内	首都圏	中京圏	関西圏	北陸圏	その他
入荷時						
出荷時						

首都圏：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、山梨県

中京圏：愛知県、岐阜県、三重県、静岡県

関西圏：大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県

北陸圏：新潟県、富山県、石川県、福井県

問4 貴事業所が製品を入荷・出荷する際に利用する諏訪地域の路線やICについて、上位2つをそれぞれお聞かせください。（路線について、もっとも多いものに「1」、次に多いものに「2」を、入荷時と出荷時の両方に記入）

	国道20号	岡谷茅野線 県道16号	市道 湖周線 (湖岸通り)	中央自動車道 諏訪IC	岡谷IC	その他*
入荷時						
出荷時						

※ 具体的な路線をお書きください

問5 第1回地域の意見聴取（H26.2～H26.3）の結果について、妥当だと思いますか？

（裏面の「第1回地域の意見聴取（H26.2～H26.3）の結果」をご覧ください）（単一回答）

☐ 妥当だと思う	}	⇒ 問7へお読みください
☐ どちらかと言うと妥当だと思う		
☐ どちらとも言えない		
☐ どちらかと言うと妥当だと思わない	}	⇒ 問6へお読みください
☐ 妥当だと思わない		

問6 妥当だと思わない理由についてお答えください。（自由回答）

問7 地域にとって望ましいルート帯案を検討する際にどのような項目を重視すべきと思われますか？（それぞれの項目について1つ選択してください。）

	1 特に重視 すべき	2 やや重視 すべき	3 あまり重視 すべきでない	4 重視する 必要なし	5 わからない
自然災害箇所（浸水区域や地すべり箇所）を回避し、災害に強い代替路を確保する道路	☐	☐	☐	☐	☐
交通混雑を緩和し、円滑化を図る道路	☐	☐	☐	☐	☐
交通事故が少なく、交通安全に寄与する道路	☐	☐	☐	☐	☐
高速道路ICから観光地や工業団地等にアクセスしやすく、地域産業の活性化に寄与する道路	☐	☐	☐	☐	☐
救急病院に早く行ける道路	☐	☐	☐	☐	☐
生活環境（大気環境・水環境）に配慮し、できる限り影響を回避した道路	☐	☐	☐	☐	☐
自然環境（動物・植物・生態系）に配慮し、できる限り影響を回避した道路	☐	☐	☐	☐	☐
景観や人と自然との触れ合い活動の場に配慮し、できる限り影響を回避した道路	☐	☐	☐	☐	☐
沿道施設へ出入りしやすい道路	☐	☐	☐	☐	☐
地域分断や支障家屋が少ない道路	☐	☐	☐	☐	☐
事業費が経済的な道路	☐	☐	☐	☐	☐
その他：	[※具体的な内容を入力してください]				

問8 今後、詳細なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお答えください。（自由回答）

問9 その他ご意見がありましたらお聞かせください。（自由回答）

問10 事業者の皆さまを対象に実施した、前回の第1回地域の意見聴取（H26.2～H26.3）に回答しましたか？（単一回答）

☐ 回答した ☐ 回答していない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。